

令和 5 年

岡崎市議会予算決算常任委員会文教経済分科会記録

令和5年3月10日（金曜日）

本日の出席委員（9名）

分科会委員長	畑 尻 宣 長
分科会副委員長	原 田 範 次
委 員	大 原 昌 幸
同	三 塩 菜 摘
同	近 藤 敏 浩
同	井 町 圭 孝
同	磯 部 亮 次
同	三 宅 健 司
同	中 根 武 彦

欠席委員（なし）

傍聴議員（11名）

議 長	杉 浦 久 直
副 議 長	鈴 木 英 樹
	柳 賢 一
	前 田 麗 子
	酒 井 正 一
	廣 重 敦
	土 谷 直 樹
	野 島 さつき
	青 山 晃 子
	佐 藤 哲 朗
	鈴 木 静 男

説明のため出席した者

副 市 長	山 本 公 徳
教 育 長	安 藤 直 哉
社会文化部長	安 藤 治 樹
こども部長	鈴 木 滋 幸
経済振興部長	鈴 木 洋 人
経済振興部 技術担当部長	鈴 木 康 弘
教育委員会事務局 教 育 部 長	河 合 剛 志

教育委員会事務局 教 育 監	山 本 則 夫
社会文化部次長 兼文化振興課長	鈴 木 智 子
社会文化部次長 兼市立中央図書館長	鍋 田 志 郎
こども部次長 兼家庭児童課長	鈴 木 ますみ
こども部次長 兼こども発達相談 センター所長	杉 浦 基 司
経済振興部次長 兼観光推進課長	加 藤 健一郎
経済振興部次長 兼農務課長	正 村 保
経済振興部次長 兼農地整備課長	牧 野 泰 司
教育委員会事務局 教育部次長 兼施設課長	二 村 雅 志
教育委員会事務局 教育部次長 兼社会教育課長	福 澤 純 子
スポーツ振興課長	山 田 能 正
体 育 館 長	五十嵐 千 草
多様性社会推進課長	三 浦 健 仁
生涯学習課長	加 藤 恭 典
美術博物館長	前 島 豊
地域文化広場館長	三 宅 葉 子
美 術 館 長	村 松 和 明
こども育成課長	谷 端 健 司
子育て支援室長	松 澤 真由美
保 育 課 長	大須賀 秀 樹
商工労政課長	木和田 佐奈枝
「どうする家康」 活用推進課長	桑 山 めぐみ
森 林 課 長	畔 柳 久 司
中山間政策課長	小 林 哲 夫
教育委員会事務局 教育政策課長	田 中 典 子
学 校 給 食 センター所長	宮 瀬 和 之

教育委員会事務局 学校指導課長	熊谷清一
教育相談 センター所長	小田英宣
農業委員会 事務局次長	牧野徳之

職務のため出席した者

議会事務局長	近藤秀行
議会事務局次長 兼議事課長	青木善信
議事課副課長	畔柳康弘
総務課 総務係係長	菊本葵
総務課 渉外係係長	神尾清達
議事課 議事係係長	近藤景介
総務課主査	長坂香里
議事課主事	田中義了
議事課主事	山崎元宝

午前9時39分開会

○分科会委員長（畑尻宣長） 出席委員が定足数に達していますので、ただいまから予算決算委員会文教経済分科会を開会します。

○分科会委員長（畑尻宣長） 本分科会の審査対象は、3月2日の予算決算委員会で、本分科会に分担された事項です。

なお、議案の審査における説明は本会議で終わっていますので、これより各会計別・款別の質疑を行います。

あらかじめ執行部の皆様をお願いします。発言をする際は、必ず発言要求ボタンを押し、挙手をしてから職名を申し出てくださいよう御協力をお願いします。

また、本分科会は質疑及び答弁を含めた会派等持ち時間制を採用しますので、特に答弁については、簡潔、明瞭に行っていただきますよう御協力をお願いします。

なお、答弁の訂正をする場合は、時間管理の都合上、事前に議会事務局へ申し出てくださいよう御協力をお願いします。

また、各会派等の残り時間については、大会議室の前後2か所に設置のモニター画面により御確認ください。残り時間が5分となった場合は、その時点で短いブザーで3回お知らせします。また、残り時間がなくなったときは、通常のブザー音でお知らせします。その時点で行っている答弁は終了まで続けていただき、終了次第、発言を終わってください。よろしくお願いします。

初めに、第14号議案「令和4年度岡崎市一般会計補正予算（第14号）」のうち、本分科会所管分についてを議題とします。

歳出から順次、款を追って質疑を行います。

2款総務費、御質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、3款民生費、御質疑はありませんか。

近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 予算説明書の70、71ページ

です。3項2目児童措置費の下から三つ目のポチです。私立保育園施設整備補助業務の中の、私立保育園施設整備費補助金5,174万7,000円の減ですが、この概要についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 本業務は、新型コロナ対策として、私立保育園が水道蛇口の自動水栓化やトイレの洋便器化を進める場合に、その費用を補助するものでございますが、補助制度を利用して改修する保育園の施設数や改修箇所数が当初の見込みよりも少なかったため、不用額を減額補正するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 当初予算額と比較して大幅な減額補正となっていますが、執行が少なかった理由を教えてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 予算を計上するに当たっては、私立保育園に蛇口や和式便器の数を調査し、各運営法人がコロナ対策として事業を行いたいと判断した場合に、対応できるだけの額を計上しておりました。

事業を実施するかどうかについては、各運営法人の考えによるところでありますが、対象となる市内の私立保育園19園のうち、補助制度を活用し、実際に事業を実施したのは6園にとどまりました。

なお、事業実施を控えた理由として、各法人からは、出る水の量の調節ができなくなる、蛇口自動水栓の故障のリスク、維持管理の負担が増えることへの懸念のほか、蛇口をひねることで、水が出るということを園児が体験する環境を、教育的な側面から残しておきたいといった声が聞かれました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは、予算説明書の69ページから、減額の理由を3点伺いたいします。

3款3項1目、市遺児手当支給業務の減額理由について伺いたいします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 子育て支援室長。

○子育て支援室長（松澤真由美） 当初予算では、支給対象児童数を月平均3,782人と試算しておりましたが、見込みが月平均3,578人となり、支給対象児童数が見込みを下回ることによる減額でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは71ページ、3款3項2目、児童扶養手当支給業務につきまして、こちらも大幅に減額となっておりますが、理由についてお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 子育て支援室長。

○子育て支援室長（松澤真由美） 児童扶養手当の支給額は、収入により決定されますが、当初予算では月平均支給額を4万398円と想定しておりましたが、見込みが3万9,959円となること、また支給対象人数を2,029人と試算しておりましたが、見込みが1,946人となり、月平均支給額及び対象人数ともに見込みを下回ることによる減額でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） では最後に、3款3項2目、児童手当支給業務につきまして、こちらの減額理由をお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 子育て支援室長。

○子育て支援室長（松澤真由美） 当初予算では、支給対象児童数を延べ61万7,840人と試算しておりましたが、見込みが延べ59万8,973人となり、支給対象児童数は見込みを下回ることによる減額でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、4款衛生費、御質疑はありませんか。次、6款農林業費、御質疑はありませんか。

（以上いずれも「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、7款商工費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは説明書の91ページをお開きください。7款1項3目、信用保証料・利子補助業務についてですけれども、無利子、無担保のいわゆるゼロゼロ融資の返済が、今後増加してくると思われますが、ゼロゼロ融資の返済が始まる事業者への今後の金融支援策及び地域経済の見通しについて、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 金融支援策でございますが、愛知県の融資制度に新型コロナ借換に関する融資がございます。また、今年1月には、国の融資制度で信用保証協会取扱いの保証制度である伴走支援型特別保証も、それまでは対象ではなかったゼロゼロ融資からの借換え対象となりました。

地域経済の見通しとしましては、商工労政課窓口を訪れる、複数の市内金融機関の担当者に聞き取りを行いましたところ、現在、融資審査が通らないほど苦しい事業者はほとんどいないと聞いておりますが、今後も引き続き情勢を確認してまいります。

さらに、認定の翌日交付、信用保証料補助の上限額補充を継続し、国、県等の制度について、金融機関や事業者に周知をしっかりと行いまして、地域事業者の支援を行ってまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、10款教育費、御質疑はありませんか。

三宅委員。

○委員（三宅健司） 111ページからお願いします。10款1項2目事務局費の中の奨学金の関係ですが、560万円減額補正ということになっておりますけれども、まずこの理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子） 奨学金関連業務でございますが、辞退等の理由により、当初予算の見込み人数より貸付者数が14名少なかったため、減額するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次、行きます。113ページです。2項1目学校管理費です。小学校校舎改修業務で、岡崎小学校並びに大樹寺小学校の工事のスケジュールについて、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 工事のスケジュールですが、岡崎小学校の南棟は現在工事を進めており、令和6年2月に完了する予定でございます。

また、岡崎小学校中棟と大樹寺小学校の中棟は、令和6年度末の工事完了を目指し、本年9月定例会に工事請負契約議案を上程させていただき予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 同じくですね、学校管理費で、小学校屋内運動場改修業務の内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 本業務は、岡崎小学校屋内運動場の大規模改修工事で、屋根、外壁の改修、車椅子使用者用トイレを併設したトイレの改修、アリーナ床の研磨、再塗装、出入口へのスロープ設置、照明器具のLED化等の改修を行います。また、校舎と接続する渡り廊下や隣接する倉庫についても、屋根、外壁の改修工事を行います。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に115ページです。3項1目学校管理費、中学校施設保全業務、工事の工期についてお知らせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 本業務の各工事の工期ですが、城北中と六ツ美北中の便所改修工事は、本年6月から12月までの工期を予定しており、また、常磐中学校の昇降機改修工

事は、キッズデイズまたは冬休み期間での施工を予定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは117ページ、10款4項1目、会計年度任用職員給与費等につきまして、報酬の減額とお伺いしておりますけれども、報酬の減額となった年代の方の内容とその理由につきましてお伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

主な減額の内容は教員業務支援員の報酬となります。教員業務支援員は直接児童生徒に関わりませんが、主に消毒作業等の新型コロナウイルス感染症対策に伴って、純増した消毒や清掃作業等を教職員の代わりに行っております。当初予定していました9月からの配置が遅れた学校が出たことや、中途退職で次の方の任用までに配置のない学校があったことなど、雇用時間数の見込みが下回ったことによる減額が主な理由となります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、11款災害復旧費、御質疑はありませんか。

中根委員。

○委員（中根武彦） 説明書の121ページの一番下になると思いますが、11款3項1目、岡崎城跡整備業務の内訳についてお聞きをしたいと思います。施工監理委託料及び災害復旧工事請負費の大幅な減額についての理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 社会教育課長。

○教育委員会事務局社会教育課長（福澤純子）

昨年9月定例会で補正させていただいた工事等の契約差金となっております。発掘調査により新たに確認された江戸期の石垣は、地面から高低差も少なく、上部石材を解体しているようであったため、石垣の復元及びのり面の補強工事を予定しておりました。しかし、石垣全面の調査を行ったところ、石垣の高さは2メートル程度あったことが判明しました。そこで、岡崎城跡整備委員会にて意見を伺い、現状では、天端石をそろえたように

も見えるため、史実性を担保する観点から石垣上部の積み直しは行わないことといたしました。また、のり面につきましても、地質調査の結果から、基盤層が硬く、十分に自立する地盤であることから、補強を行わず、植生マットを用いる施工方法に変更し、工事費が減額となったものです。施工監理委託料につきましては、工事費の減により、施工監理規模を縮小したことによるものです。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、歳入に入ります。

14款分担金及び負担金、御質疑はありませんか。次、16款国庫支出金、御質疑はありませんか。次、17款県支出金、御質疑はありませんか。次、18款財産収入、御質疑はありませんか。次、19款寄附金、御質疑はありませんか。次、20款繰入金、御質疑はありませんか。次、22款諸収入、御質疑はありませんか。次、23款市債、御質疑はありませんか。次、第2条継続費の補正、10款教育費、御質疑はありませんか。次、第3条繰越明許費の補正、3款民生費、御質疑はありませんか。次、6款農林業費、御質疑はありませんか。次、7款商工費、御質疑はありませんか。次、10款教育費、御質疑はありませんか。

（以上いずれも「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、第4条債務負担行為の補正、御質疑はありませんか。

中根委員。

○委員（中根武彦） 予算説明書の156ページになるとありますが、債務負担行為調書から、池田遺跡の発掘調査に要する経費のうちの、債務負担行為限度額を増額する理由と発掘調査の内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

今回の発掘調査では、事前の試掘調査により、中世の集落跡と想定される溝跡や柱跡が確認されたことから調査を行っているものでございます。調査を進めたところ、現在調査している遺跡面の下層に、さらに古い時代の遺跡が確認され、追加の

発掘調査が必要になったため、これに要する経費として、債務負担行為の限度額を増額するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑は終わりました。

次に、第29号議案「令和5年度岡崎市一般会計予算」のうち、本分科会所管分についてを議題とします。

歳出から順次、款を追って質疑を行います。

2款総務費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは予算書の199ページをお開きください。女性活躍推進業務について伺います。令和4年度と比較して減額されておりますが、まずその理由について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 多様性社会推進課長。

○多様性社会推進課長（三浦健仁） 本業務は、令和4年度当初予算と比較し、21万2,000円減額しております。主な理由としましては、講師等報酬金の減額、具体的には女性活躍推進アドバイザーとキャリア支援アドバイザーの派遣回数の見直しによるものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 女性活躍推進アドバイザー及びキャリア支援アドバイザー、それぞれの業務内容及び見直し理由について説明願います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 多様性社会推進課長。

○多様性社会推進課長（三浦健仁） 女性活躍推進アドバイザーにつきましては、女性活躍推進法の目的を踏まえ、女性の活躍や働きやすい職場環境の推進に取り組む市内の事業所に対し、社会保険労務士を派遣して専門的助言を行うものです。

育児・介護休暇制度の見直しやハラスメント対策などの相談に応じるほか、社員向け研修も行っております。ここ数年は、コロナ禍に対応した働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進の一環

として、ウェブ会議やテレワーク導入に向けた相談にも応じてまいりましたが、それらがある程度落ち着いたことから、実績に基づき回数を見直しております。

また、キャリア支援アドバイザーにつきましては、女性就労を支援するテレワークマッチングイベントで参加者の相談に応じるため、令和4年度は2名分を予算計上していました。しかし、マッチングイベント前のセミナーで十分なフォローアップをしていることから、イベント当日の相談件数は減る傾向にあるため、1名分減額しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 事業所向けの女性活躍推進アドバイザーについては、減額によるサービス低下が懸念されますけれども、対策についてお聞きいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 多様性社会推進課長。

○多様性社会推進課長（三浦健仁） 対策として、より幅広い観点から新たな相談メニューを追加しまして、支援内容を充実したいと考えております。具体的には、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の令和4年度開始に伴い、LGBTQに関する労務管理についても、相談に応じます。今年度、岡崎商工会議所、六ツ美商工会、ぬかた商工会の各団体様の御協力により、LGBTQに関する事業所取組アンケート調査を実施いたしましたところ、幾つかの事業所からアドバイザー派遣の御希望をいただきました。事業所への働きかけを通じて、性別に関わりなく多様な人材が活躍できる職場環境づくりを支援し、誰もがその個性と能力を発揮できるまちづくりを推進してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 続きまして、ページ飛びます。209ページをお開きください。2款2項12目の中山間地域活性化業務の概要と取組についてお

伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 本市の中山間地域、オクオカは、豊かな自然や景観を有し、農地、森林の多面的機能の発揮の面でも重要な役割を担っている反面、高齢化、担い手不足、鳥獣被害、地理的条件不利などの課題を有しています。これらの課題に対応するため、昨年3月に策定いたしました「中山間地域活性化計画～オクオカ イノベーションプラン2030～」に基づき、これを推進し、持続可能な魅力ある地域を目指すものが本業務でございます。

主な取組といたしましては、移住対策として、昨年7月にわんParkに移住相談窓口「もりまっち」を設置いたしまして、また、地元とのパイプ役として、オクオカの各学区の総代会長の推薦によりまして、各学区に移住アドバイザー——現在23名を委嘱して配置したところでございますが——来年度は、この相談窓口と地元が連携をしながら、移住希望者と地域とのマッチングを図り、移住につなげるよう、注力して取り組んでまいります。その他、主なものとして、農林業の担い手確保を図るためのイベント開催や、所得向上等を図るために地域資源の賦存調査も引き続き実施してまいります。

さらに、地域コミュニティの維持・強化を図るためには、あらゆる世代の住民が参加して、地域の将来像について話し合うことが重要と考えております。地域住民主導による地域将来ビジョン（地区別計画）の作成を進めておりますが、まだ意識が醸成されていない学区への理解促進を図ってまいります。

その他、既存施設の有効活用方法の検討も行っておりますが、地域の環境保全活動等を推進するため、鳥川町のホテル学校におきまして、大型バスの受入れに対応できる駐車場及びトイレの設置をするなど、多目的広場の整備を行います。

これによりまして、ホテル学校を拠点に民間企業のCSR活動の受入れも行えるとともに、蛍が飛翔する時期に慢性化しております交通渋滞対策

の一助にもつながるものと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） ありがとうございます。

続きまして、その下段にあります山村振興業務ですけれども、この業務の概要と取組についてお伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） この業務は、山村振興法に基づきます、振興山村地域に指定されている額田地域を対象とした山村振興計画に基づき、振興を図る業務でございます。

この業務の主なものといたしましては、地域おこし協力隊制度でございます。

この制度は、都市地域から過疎地域等への条件不利地に住民票を異動し、地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る取組で、3年以下の活動期間が設定されております。現在1名が着任しておりますが、来年度4月から1名、さらに10月から1名、計3名体制に拡充します。

また、一定の期間、地域協力活動を体験していただきまして、受入れ地域とのマッチングを図ることを目的といたしました、おためし地域おこし協力隊、地域おこし協力隊インターンを実施いたしまして、より充実した地域活動となるよう取り組んでまいります。

なお、お試しとインターンを含めた地域おこし協力隊制度は、国の制度であるため、特別交付税措置がなされます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、197ページをお願いします。2款2項3目男女共同参画費の男女共同参画推進業務についてお伺いをします。

男女共同参画について、特徴的な取組、新たな取組とか力を入れていく取組がありましたら、教えてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 多様性社会推進課長。

○多様性社会推進課長（三浦健仁） 本業務で、

冊子、多様な性のハンドブックの印刷製本費を予算計上しております。

令和4年度のパートナーシップ・ファミリーシップ制度の開始に伴い、従来のハンドブックをリニューアルしたものでございます。県内で初めて条例で位置づけた本市のパートナーシップ・ファミリーシップ制度につきましては、当事者の方はじめ多くの市民から御支持をいただき、ハンドブックに対しまして、手に取った方々の多くから好評をいただいております。令和5年度におきましても、研修やイベントなどで活用し、多様な性を尊重するまちづくりを推進してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、203ページをお願いします。2款2項6目都市交流諸費の外国人市民支援事業補助業務についてお伺いをします。

補助事業とは何か、それから補助金は幾らか、そして補助する条件についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 多様性社会推進課長。

○多様性社会推進課長（三浦健仁） 本補助金は、日本語教室の開催、多言語での情報誌の発行、外国文化の紹介などの市民活動に対して補助金を交付するものです。

補助額は経費の2分の1以内、かつ10万円を限度としております。補助の条件は、申請者が本市市民協働推進条例で規定する市民活動団体であること、また内容が外国人と日本人との交流など多文化共生社会の構築を促進する活動であることなどです。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、209ページをお願いします。2款2項12目中山間地域振興費の中山間地域活性化業務についてお伺いをします。

オクオカ地域コミュニティ創出事業について、活用する既存の施設、資源についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 中山間地域活性化施設として、わんPark、ホテル学校、みつわ広場、千万町楽校、農村環境改善センター、旧JA下山支店の6施設を位置づけております。

また、そのほか、オクオカ12学区内の施設及び備品、地域資源を、地域コミュニティの活性化を図るための環境整備を本事業の対象といたしまして、民間事業者等の提案を公募し、補助する事業でございます。

以上です。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、私からは、この款、最後ですが、211ページお願いします。2款2項12目中山間地域振興費のみつわ広場管理業務について伺いをします。

新年度の主な計画とみつわ広場管理業務費が64万円増の理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 本年度、校舎の改修を一部実施しておりまして、地域の活性化、都市部との交流をできるようなスペースを今改修をしております。これによりまして、関係人口の創出を図っていこうということを考えております。

それから、管理業務費の増額の理由でございますが、この校舎の改修を受けまして、施設の利用率が上がることが想定されます。それから、経年劣化による施設修繕費用も、ちょっと増額して計上したこと、それから利用率が上がるということもございますので、今まで地域団体へ、除草、草刈りのみを委託していたものを、施設の清掃等など、業務の範囲を広げまして、よりよい施設維持管理を行っていただくため、施設管理委託料を増額しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、この款、一つだけ伺います。

209ページです。2項12目中山間地域振興費の上から二つ目のポチです。

中山間地域活性化業務の中の中山間地域活性化

委託料3,837万4,000円となっておりますが、これは前年に比べ1,167万9,000円増額となっております。その理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 増額の主な理由といたしましては、今年度におきまして、ワーケーションスペースとしてトレーラーハウスの製作に係る費用1,100万円を工事請負費として計上しておりましたが、種々検討の結果、単に施設を整備して関係人口の創出を図るのではなくて、中山間地域の林業活性化にも寄与するものとするため、委託費へ流用いたしまして、木材を活用した企画等を含めた業務として、本市も出資して設立した林業6次産業化を進める地域商社、株式会社もりまちへ委託いたしました。

令和5年度におきましても、本年度と同様に、使い勝手などの市民ニーズを踏まえた機能向上、市産材のPR等木材活用の向上を図る企画を実施しながら業務を進めるため、当初予算から委託料として計上したための増額でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは予算説明書199ページ、2款2項3目男女共同参画費ですが、配偶者・パートナー等からのあらゆる暴力の根絶の中の男性相談委託料としまして、134万1,000円計上されております。この委託は、令和2年10月から毎週水曜日の午後5時から8時までの電話相談が開設されておりますが、主な相談内容は、夫婦間をはじめとした人間関係や心身の不調とのものであり、相談者が話しやすいように男性の精神保険福祉士等が対応していると聞いております。

そこで質問ですが、今年度の相談件数と相談内容、そして男性相談の存在についての市民への周知方法をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 今年度の相談件数は、2月末時点で39件。相談内容につきましては、主に離婚や妻との関係性に関するものが多い状況でございます。

次に、市民への周知方法でございますが、市ホームページ、市政だよりへの掲載、また、男性相談案内カードを市役所の男性用トイレに設置しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） この男性相談の事業の立ち上げ時には、年間の相談件数を、ほかの自治体の情報等から年間で50件から100件を見込んでいたと聞いておりますが、また、男性は人に弱みを見せたくないと思う気持ちが強いところがありますので、なかなか相談まで踏み切れない方もいらっしゃるといったことも、過去の委員会答弁でありました。そこで、本市の男性相談の存在を知らない方に周知していく必要性もありますので、例えばですが、男性相談の案内カードを保健所の窓口や市民病院の1階男性トイレ、各地域交流センターやシビックセンター、中小企業・勤労者支援センターなど、なるべく様々な場所に設置していくことは可能かどうか、見解をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 御提案いただきましたとおり、男性相談案内カードの設置場所の増設に向け、関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） 1点のみ、お伺いいたします。

209ページ、2款2項12目中山間地域振興費の中の山村振興業務につきまして、この中の地域おこし協力隊活動費補助金が530万円計上されております。

来年度4月から1名、11月から1名、計2名分の地域おこし協力隊の増加分と加えて、新たに当初予算として、昨年秋から開始しているおためし地域おこし協力隊について、どのようなものか、お伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） おためし地域お

こし協力隊は、地域おこし協力隊として活動する前に、一定の期間、地域活動を体験することにより、地域や地域住民を理解し、関係性をつくるなど、受入れ地域とのマッチングを図り、任用後の暮らしを具体的にイメージする機会を提供することを目的としております。

活動期間は2泊3日以上となっております、2週間以上3か月未満の活動に対しては、地域おこし協力隊インターンとして委嘱いたしまして、活動に従事していただきます。

活動内容は、地域おこし協力隊と同様に、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、産業振興、地域行事などのコミュニティ活動、移住・定住の促進などの活動を行うものになります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、3款民生費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、269ページになります。二つ目のポチ、3款3項1目、子育て短期支援業務ですけれども、制度の概要と変更が若干あるように聞いております。その内容についてお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 制度の概要でございますが、子育て短期支援事業は、保護者の病気や仕事、育児疲れなどの理由により、家庭で一時的に子供の養育が困難となった場合に、原則7日以内の期間で児童福祉施設に預かりの委託を行うものでございます。

制度の変更内容といたしましては、児童福祉法の改正により、委託先に里親を追加することが可能となったことから、本市におきましても、児童福祉施設に加えて里親を委託先とするものでございます。これにより預け先が増えること、保護者が遠方の施設に送迎する必要がなくなること、里親が送迎できる場合は、園や学校を休むことなく、これまでどおり通うことが可能になるなど、子供がより家庭養育に近い環境で過ごせるようになり、子育て家庭の負担軽減につながるものと考えてお

ります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、279ページをおめくりください。3款3項4目です。こどもの家施設保全業務の施設保全工事請負費で実施する工事についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 施設保全工事請負費の工事内容でございますが、本業務におきまして、防水などの雨漏り対策を含む施設保全を目的とするもので、羽根学区こどもの家及び大門学区こどもの家の屋根外壁改修工事を予定するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、281ページをおめくりください。

こどもの家施設整備業務になりますが、この請負費について内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） こどもの家施設整備業務におけます施設整備工事請負費の内容でございますが、本業務、令和4年度に実施しております上地学区こどもの家のレクリエーション室床の張り替え工事に続き、連尺学区こどもの家及び矢作西学区こどもの家で張り替え工事を予定するものでございます。

多くの学区こどもの家が建築から30年以上経過しており、樹脂製のレクリエーション室床の劣化、摩耗が進行しておりますことから、今後も児童等の転倒などのリスク対策として、計画的に床の張り替えを行うことで、利用者の安全を確保したいと考えているものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、私から、3款最後ですが、283ページ、3款3項5目、放課後対策施設整備業務ですが、この内容についてお示しください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 本業務の内容は、市営平地住宅及び大樹寺荘の建て替えに合わせまして、その敷地内に放課後児童クラブを整備するものでございます。

平地住宅に併設する放課後児童クラブにつきましては、住宅棟とは別に木造平屋建ての放課後児童クラブを整備するもので、工事請負費5,404万3,000円、市産材調達管理基金繰出金365万9,000円、合計5,770万2,000円を計上しております。

施設整備と同じく令和5年度に、公募により運営事業者を選定しまして、公設民営型の放課後児童クラブを令和6年4月1日に開所する予定でございます。

続きまして、大樹寺荘に併設する放課後児童クラブは、令和5年度から7年度の3か年にわたり住宅棟の一部に放課後児童クラブを整備するものでございます。令和5年度予算には、工事請負費496万5,000円を計上しております。

平地住宅に整備する放課後児童クラブと同様に、公募による公設民営型放課後児童クラブを令和8年4月に開所する予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 私からは、説明書の275ページ上段の部分にあります、3款3項2目、私立保育所等創設等支援業務の委員報酬について伺います。

まずは、概要をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 本予算は、令和5年度に公募を予定しております小規模保育事業について、事業者を選定するために設置する委員会の委員報酬を計上したものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、事業の内容と公募する理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 小規模保育事業とは、

保護者の就労などにより家庭で保育ができない児童のうち、年齢がゼロ歳から2歳までの児童を対象に6人から19人の定員で、市の認可を受けて保育を実施する事業を指します。

本事業は、平成27年度に施行されました子ども・子育て支援新制度において創設されたもので、規模や施設面での開設のしやすさから、都市部において、保育所や幼稚園、認定こども園と連携して待機児童解消を図ることを目指す事業でもございます。

本事業を公募する理由ですが、本市では令和3年度から1、2歳児を中心に待機児童が生じている状況にございまして、その対策として、これまで浄華保育園の開設や、白鳩保育園の園舎の増改築、みやこ幼稚園、やはぎみやこ幼稚園の認定こども園への移行などにより、3歳未満児の定員の増加を行ってきたところですが、依然として、3歳未満児の保育需要は高く、その受皿が十分に確保できているとは言えない状況にございます。そこで、本市の保育需要が高い地域に小規模保育事業を活用して、より効果的に3歳未満児の受皿を確保できるよう、募集区域を設定し、事業者を公募しようとするものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 公募をするということですが、この公募する区域をお伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 待機児童が生じている区域について、需給バランスの現状や、今後のマンション建設、宅地開発等の状況を踏まえ検討しました結果、中央区域に2施設、岩津区域に1施設を公募する予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、この事業のスケジュールについてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 令和5年度の上半期には事業者の公募と選定を行い、その後は事業者

の準備次第となりますが、早ければ、令和5年度中に開所できるよう、認可手続を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 同じく275ページ、今の項目のすぐ下になると思いますが、私立幼保連携型認定こども園等運営支援業務について伺います。

事業概要について、まず、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 本業務は、令和5年4月から開設する、みやこ幼稚園、やはぎみやこ認定こども園に対し、その運営を支援する目的で実施するものでございます。

五つの事業を予定しておりますので、それぞれの事業について説明をさせていただきます。

まず、一つ目、私立幼保連携型認定こども園運営費補助金についてでございます。

幼保連携型認定こども園の運営費は、国の定める公定価格に従って支払われますが、保育教諭の人件費分について、国の配置基準に従って計算されているため、本市が条例により上乗せ配置している人員分については、この公定価格に含まれておりません。

この市条例に基づく上乗せ配置分について、その一部を運営費補助金により補助するものでございます。

また、園児の健康診断の費用について、私立幼稚園と同様に補助するものでございまして、なお、健診の回数は、保育園を準用し、2回分として計上してございます。

二つ目、保育体制強化事業費補助金についてでございます。

この事業は、保育教諭とは別に保育支援者を雇用し、保育設備の消毒や清掃等を保育教諭に代わり従事することで、保育教諭の負担を軽減し、保育教諭が働きやすい職場環境を整備することを目的とした事業となります。

保育支援者の人件費について、1施設当たり月額10万円を上限に補助するもので、愛知県が事業

費の4分の3を負担いたします。

3点目、保育環境改善等事業費補助金についてとなります。

こちらの事業は、国の実施する保育環境改善等事業のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組む施設に対し、その対策として行う施設の消毒などに要した超過勤務手当や施設で使用する消毒液などの購入経費について、1施設当たり年額50万円を上限に補助するものとなっております。こちらは、国が事業費の2分の1を負担いたします。

4点目、延長保育事業費補助金についてでございます。

保育認定を受けた児童がやむを得ない理由により保育時間を延長して保育を受ける場合、その保育に係る事業者の経費の一部を補助するものでございます。こちらは、国、県、市がそれぞれの事業費の3分の1を負担いたします。

最後に5点目、一時預かり事業費補助金についてでございます。

教育認定を受けた児童が教育時間の前後や夏休みといった長期休業日等に、一時的に保護を受ける場合、その保護に係る事業者の経費を一部補助するものでございます。こちらも延長保育事業と同様、国、県、市がそれぞれの事業費の3分の1を負担いたします。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、263ページをお願いします。3款3項1目児童福祉総務費の子育て支援施策推進業務についてお伺いします。

この事業の内容については、代表質問等で理解したところですが、この事業を進めるに当たりまして、企業への理解促進も必要であるというふうに考えます。市内企業へのイベントのお知らせ、セミナーへの参加、育児休業制度の創設と取得などの働きかけを商工労政課などの関係する課との共同で進めていくべきというふうに考えますが、本市の考えをお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） セミナーにつきましては、年内に全4回の開催を予定しているものでございますが、うち1回は企業の人事担当者の方々にも参加していただきまして、男性の育児休業制度や男性の家事・育児参画に関する知識を身につけていただく内容で開催したいと考えております。

企業側へのセミナーへの周知につきましては、商工労政課をはじめ、庁内の関係する各課と連携しまして、市内事業所に広く呼びかけを行っていくとともに、市政だよりや市ホームページでも周知を図っていきたいと考えております。

このように、家事、育児の当事者である子育て家庭だけでなく、企業に対しましても男性の家事・育児参画の促進及び男性の育児休業取得の促進を図ることで、本市の子育て環境の改善を推進したいと考えているものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、267ページをお願いします。3款3項1目児童福祉総務費の高等学校卒業程度認定試験合格支援業務についてお伺いいたします。

この事業の、令和2年度から4年度までの実績と、あと合格支援給付金が増額された理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 子育て支援室長。

○子育て支援室長（松澤真由美） まず、高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の令和2年から4年度の支給実績はございません。

次に、増額理由についてですが、この給付金は、認定試験合格のための講座を受講する場合に、受講費用の6割、上限を15万円とし、支給する制度で、申請があったときに支給できるよう、上限額15万円を1人分子算計上しており、令和5年度は、国が独り親の経済的負担を軽減するために、新たに通学の場合の補助単価を創設し、受講形態が通学または通学と通信併用の場合、上限を30万円に制度を拡充したことから、令和5年度は上限額30万円の1人分、予算を計上したため、差額の15万

円が増額となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、269ページの3款3項1目児童福祉総務費、養育支援訪問業務についてお伺いいたします。

養育支援訪問委託料が97万5,000円増額されたと思いますが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 養育支援訪問事業では、子育てに不安を持つ家庭を対象に、家庭訪問型子育て支援事業を実施しております。この事業の委託料につきまして、今年度は一連の訪問につき1万円で積算しておりましたが、来年度におきましては、近隣中核市を参考に、1万3,500円に改定すること。あわせて、双子などの多胎児を養育する家庭や保護者が精神疾患を抱えている家庭につきましては1年に2クールまで利用できるようにすること。また、利用家庭の増も見込んでいるためでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、273ページをお願いします。3款3項2目児童措置費の私立保育園運営支援業務についてお伺いいたします。

4,100万円ほど増額されておりますが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 主な理由といたしましては、私立保育園の保育士数が増える見込みであることと、おむつ廃棄のための補助メニューを加えたこと、また、六ツ美北保育園の民間移管により交付対象園が増えたことによるものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、おむつの廃棄に係る予算は幾らなのか。また、おむつの廃棄の流れをお聞かせいただきたいと思います。

そして、おむつ廃棄費用の一部を市が負担すると思いますが、保護者への費用負担は発生しないのか、また、一部補助の理由、そして廃棄事業者との契約はどのようになるのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） おむつ廃棄に係る補助金の予算として、413万7,000円を計上しております。

各保育園から排出される使用済みの紙おむつは、事業系一般廃棄物として処分されます。保護者の費用負担は生じない見込みであると伺っております。

なお、補助制度は近隣市の状況を参考に設計しておりまして、県内でも補助制度自体がない自治体も多いと聞いております。

また、紙おむつはほかの廃棄物と一緒に処分されることとなりますので、おむつの廃棄に係る分だけを抜き出すことは難しいことから、園児の人数を基礎に補助額を算出する制度としております。

市内の私立保育園の一般廃棄物処理の契約につきましては、私立保育園連合会で一緒に契約をしていると伺っています。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、275ページ、同じく3款3項2目の私立保育園等施設型給付費給付業務についてお伺いいたします。

地域型保育給付費の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 令和5年度に待機児童対策として小規模保育事業の公募を実施する予定となっておりますが、令和5年度の途中から事業が開始できるよう、当該小規模保育事業の運営費について計上するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、同じく275ページの3款3項3目保育園費、保育園施設保全

業務がありますが、施設保全工事請負費の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 奈良井保育園、福岡保育園の便所改修工事、緑丘保育園の外部改修工事、緑丘保育園の便所改修に係る設計委託料を計上したものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして277ページ、3款3項3目の保育士研修実施業務についてお伺いいたします。

新年度の主な計画についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 園長、主任、看護師等、各種各階層別のそれぞれの課題に合わせた研修を計画しているほか、公私立合同の研修もございまして、職員の資質や専門性の向上を図ります。また、子育て支援員のフォローアップや若手保育士への巡回訪問支援を行い、職員のスキルアップや離職防止を図ってまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして279ページ、同じく3款3項3目の保育園管理運営業務についてお伺いいたします。

廃棄物処理委託料2,000万円ほどのうち、おむつ処理にかかる予算は幾らほどになるのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 金額といたしましては、1,224万円ほどを見込んでおります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、こちらの保育園のほうでもおむつの廃棄の流れと保育者への費用負担は発生しないのか、確認させてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 保護者に持ち帰ってもらっていた使用済み紙おむつを、事業系一般廃

棄物として、廃棄物処理事業者に処分を委託します。

なお、保護者への費用負担は発生いたしません。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 同じく279ページ、3目の保育園費の保育園施設維持管理業務についてお伺いします。

大河ドラマの影響によりまして、大樹寺保育園等は非常に園児送迎のための影響が出ていると思いますが、平日、土日、祝日問わず観光客が増えています。大樹寺保育園の園児の安全を守るための措置は何かしているのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 大樹寺保育園の園児の送迎のため、従前より、隣接する大樹寺の駐車場を利用させていただいております。大樹寺の来場者の増加への対応として、当該駐車場については2月から機械警備を導入されておりますが、保育園の園児が安全に登園できるよう御配慮いただき、引き続き駐車場を利用させていただいております。

駐車場の整備に当たっては、本堂に近い奥の区画を参拝者に、道路に近い南側の区画を保育園送迎に、使いやすくなるよう看板を設置いただきました。

また、駐車場内での事故防止の観点から、駐車場の管理事業者と協議し、保育園送迎車両を事前登録することで、毎回の精算作業なく駐車場の利用ができるような対応をしていただいております。

大樹寺でのイベントの開催時や、ふだんよりも参拝者が多いと思われる日などにおいては、必要に応じ、送り迎えの集中する時間帯に保育園の職員が立ち、安全確保に努めているところでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、281ページをお願いします。3款3項5目放課後児童健全育成

費、児童育成センター管理運営業務についてお問い合わせいたします。

この委託料が1,600万円ほど増額しておりますが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 令和5年度予算額は、今年度、指名型プロポーザル方式により選定されました優先交渉権者からの提案金額を基に計上させていただいておりますが、令和4年度からの増額の主な理由につきましては、令和5年4月からの開所を予定しております第2緑丘児童育成センター、この施設数の増加及び事業者から提案がありました従事職員の処遇改善等によるものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、285ページをお願いいたします。3款3項6目こども発達センター費のこども発達支援業務について、自動車を保有すると思いますが、使用目的、それから車種、保管場所、管理課についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども発達相談センター所長。

○こども発達相談センター所長（杉浦基司） こども発達支援センターの指定管理者である岡崎市福祉事業団に、市が購入し、貸与している車両の経年劣化による更新でございます。

使用目的は、こども発達支援センター「わかば」に通所しているお子さんの送迎になります。現在の車種はトヨタコースターを改造した車両で、更新後も小型バスに子供用のシートを取り付けるなどの改造をした車両を使用する予定でございます。保管場所は、こども発達センター駐車場で、管理課はこども発達相談センターでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、私から3款最後の質問になりますが、287ページをお願いいたします。3款3項7目こども園費の園舎等整備業務について、施設整備工事請負費についてお聞かせください。

い。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 経常的な営繕工事が主なものになっておりますが、令和5年度については、新規といたしまして、これまでの機械警備に替えまして、こども園に防犯カメラを各園4台設置予定となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、265ページをおめくりください。3項1目児童福祉総務費でございます。上から一つ目のポチに、子ども・子育て支援事業計画策定業務でございます。その中に、子ども・子育て支援事業計画策定支援委託料398万2,000円とあります。内容は、「おかざきっ子育ちプラン」の次期計画策定のためのニーズ調査であると同っていますが、次期計画策定に必要な調査内容について、追加や見直しなどの変更点があればお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 次期「おかざきっ子育ちプラン」は、今後も岡崎市における子ども・子育て支援の総合的な指針として策定していく必要があると考えております。

調査につきましては、子育て家庭の状況や本市の各種子育て支援サービスに対するニーズを把握しまして、引き続き、保育、教育事業や地域の子ども・子育て支援事業の需給確保などの基礎資料として用いるため、現在、進行しております現行計画の進捗状況などの課題を整理しまして実施していく予定でございます。

また、本年4月1日施行のこども基本法第11条に基づく子供自身や子育て当事者の意見を反映させるための必要な措置につきまして、現時点では、次期「おかざきっ子育ちプラン」に反映するための具体的な手法等は確定しておりませんが、国からの発出が予定されておりますこども大綱等の動向を踏まえまして、国、県、先進自治体の取組状況や本市附属機関「子ども・子育て会議」に意見を伺うなど、最適な方法を検討しまして、調査

内容への追加等を判断したいと考えているものがございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは、予算説明書269ページ、3款3項1目児童福祉総務費の家庭児童相談業務ですが、1,602万2,000円が計上されております。この業務では、家庭などからの児童相談に応じるとともに、児童虐待の対応もされていると聞いております。

まず、児童虐待の定義としては、児童虐待の防止等に関する法律の第2条にて、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4種類に分類されておりますが、そこで質問いたします。

今年度の状況としまして全体の件数と、児童虐待の4種類の分類別の件数、児童の年齢別で多い順に3年齢とそれぞれの件数、また、虐待する側の分類で多い順に3分類とそれぞれの件数についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 児童虐待の通告機関は、市と県の児童相談所の2か所となりますので、そのうち本市が受理した令和5年2月末時点の集計でお答えいたします。

まず、全体の児童相談件数は928件で、このうち児童虐待通告として対応したものが588件でございます。昨年度1年間で571件でしたので、2月末時点で既に昨年度を上回っている状況でございます。

次に、虐待種別の件数でございますが、身体的虐待が132件、性的虐待が2件、ネグレクトが275件、心理的虐待が179件でございます。

年齢別の内訳で、多い順から0歳が54件、次いで10歳が44件、3歳と5歳がともに41件でございます。

虐待者の内訳でございますが、実父が322件、実母が233件、継父、養父が20件でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは、ネグレクトに続

いて2番目に多い心理的虐待についてであります。心理的虐待の中で、多い内容の虐待はどのようなものか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 心理的虐待の大半のケースは、子供の前での夫婦げんかとなっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 近年、児童虐待による心の発育への影響だけではなく、脳の萎縮や変形などへの悪影響についての研究もなされておりまして、さらに、幼児期にDV被害を経験したり、長時間見てしまったりすることで、平均よりも視野が約6%減少しているといった大変に悲しい研究データもあるようです。

また、直接的な虐待ではなくても、子供の目の前で夫婦が激しいどなり合いをすることも、子供にとっては心理的な負担が大きく、家族がバラバラになってしまう不安感から、体調を崩したり、学校の授業に集中できなくなったり、学校に行けなくなってしまうケースも実際にあります。

それでは、質問いたしますが、来年度の児童虐待防止の取組についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 児童虐待防止につきましましては、今年度始めました岡崎市プレママ・ベビーケア応援事業により、経済的な支援と専門職員による伴走型相談支援体制を充実し、安心して子育てができる環境を整備の推進と、あわせまして、産前産後ホームヘルプサービスやファミリー・サポート・センターなどの子育て支援サービスの利用提案により、子育てへの負担軽減を図り、虐待の未然防止につなげていきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 続きまして、予算説明書275ページ、3款3項3目保育園費のうちで人件費についてであります。

まず、人件費の中で、職員給与費等、一般職給料529人分として13億9,918万7,000円が計上されております。まず、この一般職529人の内訳をお聞かせください。

また、その下の会計年度任用職員報酬のロングパートとショートパートについて、それぞれの人数もお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） この一般職529人の内訳でございますが、保育士が435人、任期付保育士57人、業務員36人、看護師が1名でございます。

次に、会計年度任用職員のうち、ロングパート190人の内訳といたしましては、保育士140人、業務員24人、看護師11人、栄養士9人、通訳3人、その他一時預かり子育て支援員等が3人となっております。

次に、ショートパート590人の内訳でございますが、一般、延長、早朝、休日の各パート職員が合わせて521人、業務パートが45人、その他一時預かり子育て支援員等が24人となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 次の質問ですが、近年1、2歳児の保育園の入園希望が増加しておりますが、改めて、今年度現在の待機児童の人数と、待機児童の原因としては、保育士不足なのか、それとも園舎の部屋の子供を受け入れられる人数がいっぱいで入園ができないケースなのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 令和4年度の待機児童の人数は、1歳児が15人、2歳児28人の合計43人でございます。

待機児童の原因といたしましては、乳児クラスの保育需要が高く、保育室の面積上、園児の受入れが限られているのが現状でございます。

なお、令和3年度に初めて72人の待機児童が生じた際に、私立の浄華保育園の開設による受皿拡大のほか、利用していなかった保育室を有効活用

して定員を増やす対策を行いました結果、令和4年度の待機児童は29人減少することとなりました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは、正規の保育士さんとパートの方との人数の割合について、本市の考え方を聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 本市は、国が定める配置基準よりも手厚い職員配置により、保育の質の充実を図っており、直近3年間の正規率は、令和2年度が58%、令和3年度が60%、令和4年度が61%となっております。

なお、正規率については、具体的に何%が適正であるという数値を挙げることは難しく、正規保育士の確保については、人事課と協議により行っております。今後も保育に支障がないよう、適切に配置するために保育士の確保に努めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 令和5年度から働く新規の正規保育士さんについての採用試験について、本市が定めた募集定員と実際の試験に応募があった人数をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 令和5年度採用の保育士の募集定員は25人ございました。実際に応募があった人数につきましては、一般選考の保育士が159人、担任経験者特別選考の保育士が5人、合計164人の応募がございました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 本市の保育士の定員を増やしたり減らしたりする場合にはどのような手続を踏んでいくのか。こども部や保育課だけで決められるのかどうか、人事課との協議が必要なのかどうか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 保育士の定員につき

ましては、保育課において、次年度以降の園児数の増減の見込み状況から必要な保育士数を算出し、人事課とのヒアリングで協議を行い、最終的に人事課で決定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは、会計年度任用職員のロングパートとショートパートにつきまして、従事する職員が少ない時間帯などがありましたらお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 早朝保育は午前7時から9時30分まででございます。延長保育は夕方の16時から19時まででございますが、こちらの時間帯は、職員の勤務シフトをうまく接続する形で組みたいところではございますが、長時間の保育を希望するニーズが高く、それに対応するための人材確保に向けた様々な取組を行っているところですが、不足が生じている部分があるという状況でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 保育士不足の対策としては、保育士さんの職場環境の改善も必要ですが、例えば、いじめやパワハラなど、保育士間のトラブルについて、各保育園、こども園から役所の方に報告が上がってきているのであれば、今年度の件数をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 人事課からは、保育園やこども園に勤務する職員からのハラスメント相談窓口への相談件数は、ゼロ件というふうに伺っております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 続きまして、予算説明書277ページ、3款3項3目保育園費の医薬材料費65万5,000円の内訳についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 保育園費の医薬材料

費につきましては、各園で使用するばんそうこう、経口補水液等60万5,000円、フッ化物洗口5万円でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは263ページ、3款3項1目、子育て支援施策推進業務につきまして、子育て施策課題解決委託料。

こちら、男性が家事育児に参加できる環境づくりを行うための施策として、対象のセミナーに参加した方には子育てマイスターの認定を行うとお伺いしておりますが、その内容と、また、この認定は市で行うのか、委託された事業者が行うのか、確認させていただきます。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 本市の父親の家事・育児参画や育児休業取得を促進し、夫婦で子育てを共に行う社会を実現するために、子育てマイスター認定者には、男性の子育て支援事業に御協力いただきたいと思いますと考えております。

先進事例としまして、三重県四日市市では、2010年から子育てに関心のある男性を対象に、父親の子育てマイスター養成講座を実施しております。マイスターに認定された有志で構成された団体員によりまして、月1回程度、子育て支援施設等におきまして、父親の子育て相談や絵本の読み聞かせ、親子の体遊び体験などを実施されております。

本市におきまして、具体的にどのような役割を担っていただくかにつきましては、令和5年度に実施しますセミナーや、秋に開催を予定しております子育てイベントで集まりました当事者のニーズを踏まえて決定したいと思いますが、岡崎市独自の育児休業に関する啓発誌の企画、編集にも協力いただくなど、一過性にならない父親の子育て支援施策を行っていきたいと考えております。

また、子育てマイスターは岡崎市が認定いたします。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） 続きまして、先ほど御答弁にありました、本市独自に男性の育児休業に関する啓発誌を作成されるということで、こちらの作成部数の予定をお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 啓発誌の作成につきましては、岡崎市の年間出生数である3,000部程度を予定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは、続きまして283ページ、3款3項6目、こども発達相談業務につきまして、発達障がい啓発委託料の内容をお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども発達相談センター所長。

○こども発達相談センター所長（杉浦基司） 国連におきまして、毎年4月2日を世界自閉症啓発デーとすることが決議され、自閉症を理解してもらう日として、各国で様々な取組が行われています。

また、日本では、4月2日から8日までを発達障害啓発週間として、東京タワーをはじめ、各地のランドマークを癒しや希望を表す青色でライトアップする運動が行われています。

本市でも運動の趣旨に賛同し、市民の皆様にも自閉症をはじめとする発達障がいへの理解を深めていただくため、4月2日から8日まで、岡崎城及び殿橋と明代橋のライトアップを行います。

委託料は、岡崎城を青色にライトアップするために、既設照明の電球交換及びフィルム貼付けを行う業務を委託するものでございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） 最近では、市内でもナイトタイムエコノミーの推進の一環から、ライトアップの事業が増えております。

ただ、今回の青色のライトアップは世界自閉症啓発デーとして行うということで、その意味をしっかりと伝える必要があるかと思いますが、どのように周知するのか、周知方法についてお伺いいた

します。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども発達相談センター所長。

○こども発達相談センター所長（杉浦基司） 市政だより4月1日号に掲載するほか、報道発表等によりライトアップの実施とライトアップ運動の趣旨を周知してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 暫時、休憩いたします。

午前10時59分休憩

午前11時10分再開

○分科会委員長（畑尻宣長） 休憩前に引き続き会議を開きます。

4款衛生費、御質疑はありませんか。

井町委員。

○委員（井町圭孝） 1点だけお伺いをします。

309ページ、4款1項4目母子保健費の出産・子育て応援業務についてお伺いします。この業務については、応援金の支払いは妊娠届時と出生届後の2回で、出生届後に応援金は子1人当たり5万円なので、双子の場合は10万円になるというふうに承知をしております。妊娠届時に双子と分かっていた場合に、応援金はどうなるのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 妊娠届出時のプレマ応援金は、支給対象が妊婦で1人当たり5万円となっておりますので、双子などの多胎であっても応援金は5万円でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、私も1点だけ、309ページです。4款1項4目の妊産婦・乳幼児保健指導業務の中に産後ケア委託料があるんですが、この事業ではどのようなところに委託するのでしょうか。また、利用者負担の有無について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 産後ケア委託料は、出産後の母子に対し、心身の安定と育児不安を解消し、安心して育児ができるよう、助産院や医療機関に母体の健康管理や育児指導、育児相談等を委託するものでございます。

委託先でございますが、市内の助産院等が9か所、隣接自治体が6か所、合わせて15か所の契約を予定しております。

次に、利用者負担でございますが、宿泊型、デイサービス型、来年度新たに導入する予定の訪問型の3種類の形態に分かれており、市民税の課税状況や生活保護の受給状況によりそれぞれ定めております。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、新たに訪問型を導入されるとのことですが、その理由と訪問型の料金体系をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 家庭児童課長。

○家庭児童課長（鈴木ますみ） 訪問型を新たに導入する理由でございますが、従来の宿泊型とデイサービス型は、助産院等に出向く必要があり、日中は車がないという声や、ほかの子の育児があるなどの理由により利用しづらいということで、訪問型の要望も多くあったため、他の自治体を参考に導入するものでございます。

訪問型の利用料金は、1回2時間程度で8,000円の契約を予定しております。この場合の利用者負担額は、市民税課税世帯が2,000円、非課税世帯が1,000円、生活保護受給世帯を負担なしとし、差額を市が委託料として支払うものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、5款労働費、御質疑はありませんか。

井町委員。

○委員（井町圭孝） 1点だけお伺いをします。

361ページをお願いします。5款1項3目中小企業・勤労者支援センター費の中小企業・勤労者支援センター管理運営業務のうち、建物修繕料の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 岡崎市中企業・勤労者支援センターは、令和3年度にリニューアルオープンいたしましたが、多目的実習棟の床面は従前の状態でございました。多目的実習棟は、ドローン体験などで多くの市民の方に御利用いただく中で、床に敷いたマットとマットの継ぎ目にできた複数の隙間が、ドローン操縦に集中している場合に転倒の危険性が高く、より安全に利用していくために修繕が必要だと判断したためでございます。

また、ドローンでの活用のみならず、各種技能検定や実習にも広く活用していただくため、令和5年度はさらなる周知を行っていく予定でございますが、安全に使える施設だということが利用を促す上でも重要であると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、6款農林業費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、367ページをお開きください。6款1項3目、中段辺りの地消地産・消費者交流推進業務ですけれども、農林業振興推進実行委員会負担金の内容と、新たな取組の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 本市農林産物の紹介、即売等のイベント開催やブランド化の推進など、本市農林業の振興に寄与する各種事業を実施するため、JAをはじめ各農林業関係団体で組織する農林業振興推進実行委員会へ負担金を支出するものです。

例年開催しています農林業祭、ゆかりのまち行事参加、各種即売会等に加えて、令和5年度は新規に1万人鍋の開催を計画しています。

この1万人鍋は、生産者、消費者、事業者が協働・連携し、岡崎の八丁味噌や地元食材を使用したものとし、市民や大河ドラマ「どうする家康」に伴う観光客などに振る舞い、本市農林産物の魅力発信に取り組んでまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、ページをおめくりいただいて369ページ、中段辺りにあります山村活性化対策推進業務ですけれども、最適土地利用総合対策検討委託料の事業内容について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） この委託料は、国の農山漁村振興交付金（最適土地利用総合対策）を活用し、土地の利用構想の策定に取り組み、中山間地域の農用地保全を図るものでございます。

具体的には、地域の話合い等を通じまして、土地利用構想の策定に取り組み、地域の担い手や農地の状況などの実情に即して、営農を続けて守るべき農地、粗放的な利用を行う農地等を区分し、さらに農用地保全の実証的な取組を行うものです。

なお、実施地区は、大代町、雨山町、東河原町の大雨河地区を予定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、同じページの一番下にあります有機農業産地づくり推進業務ですが、この業務はどのような内容なのか、また、次年度に予定している有機農業実施計画策定支援委託料の内容についてお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） この業務は、国のみどりの食料システム戦略推進交付金を活用いたしまして、市が主導いたしまして、地域における有機農業の取組方針等の計画の策定や、その実現に向けた実証を行うものです。

具体的には、生産関連の取組として、有機農業者の育成や技術講習会の開催、農福連携等による新たな働き手の確保、放置竹林の竹を活用した土壌改良材の実証、化学肥料の代替となる新たな有機質肥料の実証、農業用ドローン等のスマート農業機材の実証、流通確保関連の取組といたしまして、流通の確保、拡大に向けた検討、有機農産物の乾物製品試作、それから消費関連の取組といたしまして、農業体験イベントの開催、市民向けイベントの食材提供、SNSでの有機農業の取組紹

介といった実証的な取組を行いつつ、有機農業産地づくりを推進してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、ページをおめくりいただいて371ページ、中段ぐらいにあります6款1項4目、産地活性化プロジェクト補助業務ですが、この補助金の内容と補助金の構成についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） この補助金は、イチゴ産地としての発展を目的に、J A、愛知県、岡崎市、幸田町が連携して設立したJ Aあいち三河「いちご」産地活性化プロジェクトチームが実施をします新規就農者の確保、育成、支援等の事業のうち、国の補助制度を活用する事業費を対象に、4分の1以内を補助するものでございます。

令和5年度は、国の産地生産基盤パワーアップ事業による補助率2分の1以内の補助金を活用し、イチゴハウス2区画を整備する計画があり、本市からその事業費の4分の1以内の2,500万円を補助するものです。

これにより、新規就農時の初期投資費用を軽減し、就農促進と新たな担い手の確保による産地の活性化を目指すものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 6款、私から最後の質問ですが、その下段にありますあいち型産地パワーアップ事業補助業務ですけれども、この補助金の内容と補助金の構成についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） この補助金は、意欲ある産地の支援を行う事業として、地域が一体となって策定した産地戦略に基づく栽培施設や共同利用施設の整備、改修、高性能農業機械の導入に対して、補助対象事業費の3分の1以内を県の財源で補助するものです。

令和5年度は、産地戦略が策定されている品目のうち、イチゴが3人、ブドウが2人、合計5人

の担い手の方からの事業実施計画に基づき、当初予算を計上しています。

イチゴでは、生産力アップを目的に、環境モニタリング装置を配備したイチゴハウスの建設を計画しています。

ブドウでは、病害虫の発生抑制及び作業分散化を図り、収量アップを目的に、パイプハウスと雨よけハウスを整備するものです。

なお、この補助事業の採択に当たって、生産販売額の増加割合や県施策との整合、産地戦略の早期実現性、市町村の上乗せ助成といった点で、それぞれポイントを算定し、県内で上位の計画から採択されるため、ポイントで有利となるよう、1計画1,000円の5人分に当たる5,000円を市費で上乗せ補助を計上しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 私からは、385ページの下段辺りになりますが、6款3項2目林業振興費についてですが、Jークレジット活用推進業務について、業務内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） この業務は、市が作成する森林経営計画に基づいて、森林を適正に管理することを前提として、クレジットの認証機関に計画を登録し、認証機関のモニタリング審査等を経て、その森林が吸収する二酸化炭素量をJークレジットとして認証を受けます。認証されたJークレジットを発行して、購入者から資金の提供を受け、さらなる森林整備を進めていくものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、この事業の予算の内訳を伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） Jークレジットの認証を受けようとする森林について、森林経営計画に基づいて間伐を実施するための委託料が865万9,000円、認証機関に整備等の計画を登録するた

めの手数料として74万3,000円、合計940万2,000円の予算となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、363ページをお願いします。6款1項1目農業委員会費の委員報酬について、275万4,000円ほど増加しておりますが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農業委員会事務局次長。

○農業委員会事務局次長（牧野徳之） 農業従事者の高齢化及び後継者不足の解消を目的として農業経営基盤強化促進法が昨年5月に改正され、10年後の農地耕作者の意向を反映させた目標地図の素案を農業委員会が作成し、その目標地図の素案を活用して、市が地域農業の将来の方針等を示した地域計画を、令和7年3月末までに策定することになりました。

令和5年度は目標地図の素案を作成するため、農業委員会委員が農地耕作者に将来の耕作意向を確認する活動がこれまで以上に増加するものと考えられることから、活動実績に基づき支払う委員報酬を275万4,000円増加して計上をしております。

なお、この委員報酬につきましては、全て国からの農地利用最適化交付金から支出されるものがあります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして365ページ、6款1項2目農業総務費の飲料水供給施設対策業務について伺います。

飲料水供給施設調査検討委託料の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 小丸町の飲料水供給施設につきまして、水源の濁りが慢性的に悪く、浄水の水質検査におきましても、基準を逸脱することがございまして、新たな給水手法を調査検討する必要があります。

過去の調査では、小丸町全体をカバーできる井

戸は期待できないという結果になっておりまして、このため新たな水源の確保や浄化システムを導入するなど、その手法も含め検討するものでございます。

以上です。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、同じページの下のほう、3目農政費の新規就農支援対策業務についてお伺いをします。

令和3年と4年の実績及び令和5年度の見込みについてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 新規就農支援対策業務ということで、それぞれ3点補助金がございますので、まず1点、新規就農支援対策事業費補助金は、必要な初期投資の2分の1、上限25万円を市費で補助するものでございまして、令和3年度は4人に100万円、4年度は2人に50万円、5年度は6人の新規就農予定者が活用すると見込んで150万円を計上しています。

次に、新規就農者経営発展支援事業費補助金は、経営発展に資する機械、施設等の導入を支援するもので、令和4年度から新設された制度になります。令和4年度は利用がございませんでした。令和5年度は新規就農予定者6人分の2,250万円を計上しています。

三つ目の新規就農者経営開始資金は、これまでの農業次世代人材投資資金から制度改正により令和4年度から設置された制度で、月額12万5,000円を、最長3年間支援するものです。令和4年度は、1人に75万円を交付しました。令和5年度は、新規就農予定者6人分と、令和4年度からの継続する1人を含めた7人分の1,050万円を計上しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして367ページ、6款1項3目農政費の新技术・農力向上プロジェクト事業補助業務についてお伺いしますが、この事業の内容と周知方法及び令和3年から4年度の実

績についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） AIなどを活用したスマート農業の導入や作業の省力化、農林産物の品質向上のための機器の導入や調査に係る経費に対して、15万円を上限に2分の1を補助するものです。

周知方法は、市のホームページに事業内容を掲載しているほか、JAあいち三河をはじめ、生産者で組織する各団体を通じて周知を図っているところです。

交付実績ですが、令和3年度は、ハウス内のモニタリング装置の導入をはじめとする6件で53万6,000円を交付しています。令和4年度は、岡崎市4Hクラブの課題解決研究、イチゴ新品種の生育特性試験など、これらをはじめ6件で合計60万円となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） 続きまして、367ページの6款1項3目農政費、農山漁村発イノベーション等整備事業補助業務についてお伺いします。

この事業の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） この業務は、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用しつつ、定住、交流の促進、農林業者の所得向上や雇用の増大を図るために必要となる農林水産物の加工販売施設や地域間交流拠点の整備に対して支援するものでございます。

今回、具体的にはNPO法人アースワーカーエナジーが天使の森の麓、東河原町地内で行う集会・椿作業室等の整備を計画していることから、これを支援するものになります。

この補助金は、施設整備費の2分の1を補助するものでございますが、補助額は国の農山漁村振興交付金から充当されます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、続いて385ペー

ジお願いします。6款3項2目林業振興費、Jークレジット活用推進業務について伺いをします。

この業務のスケジュールについてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 令和5年度にクレジットの対象となる森林管理プロジェクトの登録をし、令和6年度にクレジットの認証、発行が受けられることを目指してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、このクレジットの単価についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 発行されたクレジット量と経費を勘案して決定するため、現在のところ未定でございます。

森林由来のクレジットは、全国的な平均として、二酸化炭素吸収量1トン当たり約1万5,000円で取引をされております。岡崎市の場合、市としても二酸化炭素排出量をゼロにしないといけないため、その余剰分が出るまでは価格の検討には入らない予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、このJークレジットについて、他団体との連携があるのかということと、あと、岡崎クレジットが発行できたとき、岡崎クレジットの強みと、選んでもらうための戦略があればお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） プロジェクトの登録地で、他の団体が間伐等の森林保全活動を実施した場合は、クレジットの認証、発行がされますので、連携することも可能でございます。岡崎市が取得するJークレジットは、管理の行き届いた森林により、おいしい飲み水やきれいな空気が育まれる岡崎の森林由来のクレジットであり、岡崎市の森林の恩恵を受けている市内外の多くの企業や他自治体は、クレジットを購入することにより、その

森林を保全しながら事業を継続する持続可能な取組であると言えますので、余剰分が出たときには、こういったことを市全体でPRしていきたいと考えております。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、私から最後ですが、今の関連のところで、他市のJークレジットの活用状況について、もし分かることがあればお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 他市の事例としましては、東京都中野区は削減しきれない二酸化炭素の埋め合わせのため、福島県喜多方市が発行している森林由来のJークレジットを活用し、カーボン・オフセットを実施しております。中野区と喜多方市との連携による地球温暖化防止のための森林整備等に関する協定書を締結し、喜多方市の森林整備を中野区が支援しているという状態でございます。本市も余剰分が出ました際には、他自治体との連携、活用を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、369ページに戻っていただきまして、下から二つ目のポチで、オクオカ竹プロジェクト推進業務1,011万円についてですが、このオクオカの竹林の現状の課題と今後を伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） 今年度、市内の竹林の賦存量の調査をしたところ、竹林面積が全市で560ヘクタールあることが分かりました。このうち、額田地域の竹林は58ヘクタール、額田地域外はその8.7倍に上る502ヘクタールの竹林があることが判明しております。中でも奥殿学区や恵田学区の北部地域には竹林が大変多く、また、滝尻町から美合町にかけての乙川沿いでは、流域に広く分布している結果となっております。

このオクオカ竹プロジェクトは、農山漁村振興交付金（山村活性化対策）事業として、山村振興

地域である額田地域での地域経済循環の拡大を目指している事業ではありますが、このスキームが構築されまして、本事業が自走した後は、モデル事業として位置づけ、市内全域に活動を広めてまいりたいと考えております。

この活動は地域住民のほか、ボランティア、企業CSR活動など、伐採を担う担い手を募るなど関係人口を増やし、カーボンクレジット化、SDGs、多面的機能の市民の理解促進も視野に入れ、竹を貴重な地域資源として捉えまして、付加価値を高め、有効活用する体制の構築を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、めくっていただいて385ページです。3項2目になります。六つ目のポチなんですけれども、岡崎市産材住宅等建設事業奨励業務について、予算積算の根拠をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） この業務は、岡崎市産材の利用促進を図るために、岡崎市産材を使用して市内に住宅を新築、増築、改築を行う施主に対して建築費用の一部を補助するとともに、あつせんした建築業者に対して奨励金を交付するものでございます。

積算は、過去の補助金申請件数を参考としており、令和元年度11件、令和2年度10件、令和3年度14件と推移しており、令和5年度は12件と見込んで、1件当たり30万円を補助の上限として、12件で360万円、奨励金は1件当たり5万円として、12件で60万円と積算いたしました。その他の経費として、事業啓発、周知のためのポスターやチラシなどの印刷費と合わせまして427万7,000円の予算となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 同じページです。私からも、Jークレジット活用推進業務についてお聞かせいただきたいと思います。登録を予定している森林

の地区とその規模についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） Jークレジットの認証を目指す森林の地区と規模についてですが、地区は、細光市有林、鳥川市有林、滝尻市有林を含む区域で認証を受ける予定でございます。

規模についてですが、過去の整備実績分、合わせまして令和5年度に間伐を実施する予定の分、その他整備等合計で35.5ヘクタールを計画しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 1ページめくっていただいて387ページです。そこに、里山林整備業務というのがあるんですけども、その整備委託料の内容は何でしょうか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 里山林整備事業は、愛知県が実施するあいち森と緑づくり事業のメニューで、地域の里山林において、地域団体が里山林の管理や活用を容易にできるように、本市が県の交付金10分の10を受けて設計や整備等を行うものでございます。

里山林整備委託料につきましては、岩津町の約2ヘクタールの里山林において、令和3年度から事業を行っており、初年度は測量調査設計、令和4年度は管理に支障となる枯木の伐採、事業の最終年度である令和5年度は、竹の伐採及び管理道の整備を行うものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） すみません、戻っていただいて371ページです。1項4目農産振興費になりますが、環境保全型農業直接支払交付金交付業務がでございます。

この内容と増額の理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 本業務は、化学肥料、化学合成農薬の使用の低減、有機農業への取組など、自然環境の保全に資する農業生産活動の実施

に伴う追加的コストを環境保全型農業直接支払交付金として支援をしておるものです。

増額の理由ですが、対象となる取組団体が一つ増えまして5団体となったこと、また、これに伴う取組計画面積が18ヘクタール増えまして、全体で約104ヘクタールになったことが増額の主な理由でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それでは、予算説明書371ページ、6款1項4目農産振興費ですが、農業塾開設事業補助業務が35万4,000円計上されております。

まず、本市の農家数の状況であります、国が5年に1度調査している農林業センサスでの平成12年の旧額田町も合わせた販売戸数から、令和2年までの販売戸数の推移をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 農林業センサスにおける販売戸数の推移です。平成12年3,192、平成17年2,578、平成22年2,027、平成27年1,518、令和2年1,101と減少をしております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 農業塾についてでございますが、本市内の農業塾には2種類ありまして、農業支援センターの農業塾と、南部のJAあいち三河の本店にある農業塾についてですが、その違いをお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 本市農業支援センターで実施する農業塾は、新規就農希望者や定年帰農者の育成支援を目的に、露地野菜の基本的な栽培技術を学びたい方を対象とし、農業の基礎を学ぶ場として開設しています。

また、JAあいち三河の農業塾では、産直出荷者の増加や農業生産の拡大に向けた取組として実施をされております。土作り、野菜の栽培管理、病害虫防除など、農業の基礎を学ぶ第1農業塾と、そこからさらにステップアップをした農業技術や

農産物の出荷に必要な知識を習得する第2農業塾があります。

本市の農業塾とJAあいち三河が実施する第1農業塾では、農業の基礎を学ぶといった面で同様の位置づけとなっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） JAあいち三河主催の農業塾についてですが、栽培の基礎を学ぶ第1次農業塾と第2次農業塾の受講者について、今年度はそれぞれ何名か、お聞かせください。

また、卒業生の中で、JAあいちの部会への加入者や、産直施設への出荷者登録を予定されそうな方々は何名いらっしゃるのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 令和4年度の受講者ですが、第1農業塾23人、第2農業塾10人です。

また、第2農業塾の修了生で、産直施設へ出荷者の登録をする予定の方が4人お見えになると伺っております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 続きまして、予算説明書375ページ、6款1項7目農業支援センター費の農業体験交流業務が116万9,000円計上されております。今年度の農業体験の参加人数をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 農業体験交流業務では、野菜の栽培教室と農業塾を実施しております。

栽培教室は、3か月ごとに募集をかけ、季節の野菜栽培の講義を中心に、今年度は年間22回開催し、延べ239人が参加しています。

また、農業塾は、通年で栽培技術を学ぶ方を募集し、定員となる10人の方が年間約50回の研修を受講し、今年度は2月24日に修了しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 農業体験の参加者には、農

業支援センターの農業塾とＪＡあいち三河の農業塾の双方を紹介していくことで、特に若い方の新規就農者の増加につなげていく考えはないか、見解をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農務課長。

○農務課長（正村 保） 御提案ありがとうございます。

現状、栽培教室では、これまで家庭産園をしてきた、または始められる方で、上手に栽培ができるようになりたいといったことを主な動機として参加される方が多いことから、野菜類の栽培基礎を学び、日々の疑問やうまくいかなかった原因の理解につなげ、今後に生かせるような講義を中心に行っております。

また、こうした参加者の皆さんには、より深く農業に関わっていただくきっかけとなるよう、農業塾の開催についても御案内をしております、栽培教室に参加した翌年度に農業塾を受講された方が、毎年お一人、二人はお見えになるといった状況でございます。

そのほか、栽培教室に参加された方からは、安全安心な野菜を栽培したい、有機農業に興味があるといった御意見もございますので、今後、こういった意見を踏まえた内容を取り入れながら、多くの方に農業に関わっていただくきっかけとなるよう、栽培教室や農業塾を実施し、新規就農につなげてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） 続きまして、予算説明書385ページ、6款3項2目林業振興費ですが、一番下に森林整備対策業務が2,463万1,000円計上されております。森林には雨水を土壌内にとどめ、時間をかけてゆっくりと河川へと水を流すことで、洪水を防ぐいわゆる緑のダム機能や、低木や木の根などにより土壌を崩れにくくして土砂災害を防ぐ機能等々、多面的機能があります。

その多面的機能を正常に保つためには、間伐によりまして過密な林木にゆとりを持たせたり、枝打ちなどによって日の光が森林の中に入らない状

況を改善する必要がある、間伐等を行うことで林木が十分に深く根を張ったり、幹の成長を促す効果があり、多面的機能を保つことができます。

そこで質問ですが、まず、今年度の間伐面積の見込みと、来年度の間伐面積の予定をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 令和4年度の間伐面積は82.21ヘクタールを見込んでおり、令和5年度の間伐面積は105.40ヘクタールを予定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 大原委員。

○委員（大原昌幸） それ以外の間伐もあると聞いておりますが、市域全体の森林整備を考えた場合の課題についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 森林課長。

○森林課長（畔柳久司） 森林の約9割は個人地であり、間伐を実施する意思決定は、その地主の判断となります。

課題として、地主の高齢化や相続による市外所有者の増加等により、放置人工林が増えています。

その対策として、平成31年4月に施行された森林経営管理法に基づき、管理が難しい個人の人工林については地主の意思で市に管理を任せていただき、市で間伐を実施しております。

市全体としましては、岡崎市森林整備ビジョンの個別施策に放置人工林の間伐の推進があり、その成果指標を放置人工林を含む地番の間伐面積としております。2020年から2030年までの10年間の目標を2,179ヘクタールとしており、単年度当たりに換算しますと217ヘクタールとなります。令和3年度の間伐面積の実績は278ヘクタールであり、単年度では目標を上回っております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは、2点のみ確認させていただきます。

367ページです。6款1項3目、農山漁村発イノベーション等整備事業補助業務について、こち

ら、先ほどの御答弁で内容については理解するところですが、イノベーションを創出するためどのような連携が見込まれるのか、また、目指している方向性について、考えをお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） そもそもこの農山漁村発イノベーションという言葉でございますが、これは国が今年度から使い出した言葉でございます、昨年度までは農林漁業の6次産業化という言葉のみでございました。

国の意図といたしまして、この6次産業化を進展させまして、地域の文化や歴史、森林環境など、農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、それから農林漁業者はもちろんでございますが、地元の企業など、そういった多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出していこうということで、この農山漁村発イノベーションという言葉が使われるようになりました。ですので、要は中山間地域における所得と雇用の機会の確保を総合的に図ることが目指す姿というふうに捉えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） それでは381ページ、6款2項2目、県営矢作川利水総合管理緊急整備事業費負担業務につきまして、本業務は県主体の新規事業とお伺いいたしましたが、事業の内容と事業費の負担割合についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 農地整備課長。

○農地整備課長（牧野泰司） 本業務は、本市をはじめ豊田市、安城市、西尾市、碧南市、幸田町の5市1町に、国営事業にて造成された用水等の老朽化対策の負担金でございます。過去に改修の対象とならなかった施設等を愛知県が事業主体となり、緊急的に施設整備をするものでございます。

事業費の負担割合につきましては、国が50%、県が29%、関係市町が14%、地元土地改良区が7%でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、7款商工費、

御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） 391ページをおめくりください。7款1項2目、地域経済再生・活性化支援業務ですけれども、アフター大河を見据え、どのように事業を進めていくのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 事業者のOkabiへの相談やイベント出店時の感想からは、SNSでの発信を強化したい、新商品、新サービスを効果的に広報したいという声が多くありましたので、令和5年1月に、若者に人気のInstagram導入の入門ゼミや、新商品、新サービスを新聞やテレビに取り上げてもらうプレスリリースの書き方セミナーを実施いたしましたところ、各回定員を超える申込みがあり、満足度の高いものでございました。

今後も、ビジネスチャンスにつながる、学べる、生かせるセミナーなどを開催するとともに、持続的な売上向上につながる支援策を展開し、岡崎の店舗、商品を認知いただけるよう、引き続き出店支援、情報発信を強化してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、ファンづくり事業でインフルエンサーを活用されていますが、目的や今後の展開についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 情報発信事業として、グルメ系のインフルエンサーを活用した店舗情報の発信を行っております。具体的には、フォロワー数4.2万人で、岡崎市を中心に活動するインスタグラマーに情報を発信いただいております。

観光客が増える1月以降にメニューや商品の情報を発信することで、来店いただくきっかけをつくることを目的としております。若者に限らず、Instagramでお店の情報を検索される方が増えておりますので、今後も多くのフォロワーを有するインフルエンサーに情報発信していただくよ

う準備をしております。

また、この取組を個々の店舗さんの情報発信に生かしていただくように考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） ECサイトの件ですけれども、やがて自走になっていくというふうに聞いていますが、この自走になっても事業者が残ってくれる仕掛けとか考えていけば、他のサイトよりも魅力的になるところについて、お聞かせをいただきたいと思います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） オンライン上で流通していない商品、岡崎に來ないと買えない商品や、このECサイト限定のセット商品を掲載する予定でございます。例えば、八丁味噌、石製品、和ろうそくなど岡崎らしい商品や、木材を加工したインテリア雑貨、オーダーメイドの商品などを取りそろえる予定でございます。

サイトの構成としましては、岡崎の魅力、商品の魅力をしっかりPRし、消費者の購買意欲をかき立てる内容を予定しております。

本サイトは、オンラインショップを開設したことがない事業者にも試していただき、自社サイト開設のきっかけづくりとすることも目的としております。また、事業者のデジタル化推進や販路開拓についての丁寧な支援も行っておりまして、事業者にとっても、これらのことが本サイトの魅力になっていると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） ありがとうございます。よろしく申し上げます。

それでは、その下の商工会議所青年部全国会長研修会支援業務についてですけれども、この支援業務の内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 本事業は、令和7年度に開催予定の商工会議所青年部全国会長研修会の準備に係る支援業務でございます。

全国会長研修会は、全国から2,000名近い若手財界人が集まり、研さんを積む会だと聞いております。また、それだけの人数が一斉に集まることで、経済効果もかなり大きなものになります。

本市においても、経済界に影響のある全国の財界人に対し、岡崎の魅力を十分に知っていただくことが、本市の経済効果を高めることにつながる認識しております。

令和7年度に開催されますが、準備は2年前に当たる令和5年度から始まります。令和5年6月には、本部からの視察を含めて100名以上の役員が本市を訪れます。その視察で、どれだけ研修会開催にふさわしいかをPRすることが重要でございます。

「どうする家康」放送中という好機でございますので、日本商工会議所青年部本部役員から全国の財界人へ「家康印」をはじめとした岡崎の商材を知っていただき、岡崎にぜひ訪れたい、岡崎のことをもっと知りたいというファンを増やすことや、全国規模の会を開催することで、本市の若手財界人が刺激を受け、新たな関係性を生み出すことは、岡崎の経済界の魅力のさらなる発展につながるようになりますので、岡崎商工会議所青年部の取組を支援していく必要があると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 395ページをお開きください。7款1項5目、産業立地誘導地区開発推進業務ですけれども、現在までの産業立地誘導地区への進出企業は何件でしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 産業立地誘導地区への進出企業件数は、現在、建設工事が行われているものも含め8件でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 近隣市町でも企業誘致に力を入れておられますけれども、岡崎の優位性についてどのようにお考えか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 本市の優位性としましては、近隣市町と比較しても手厚い奨励制度や東名高速道路、新東名高速道路、国道1号、248号といった東西南北の主要道路が整備されており、物流効率、災害時の対応力が高いこと、また、岡崎ものづくり推進協議会でのサポートなど、立地後の支援も充実している点であると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） さらなる企業立地の推進や、市内企業が市外へ出ていけないための対策についてのお考えをお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） ソフト面では、商工会議所と組織するものづくり推進協議会を通じ、コーディネーターの派遣や大学、支援機関の連携により、ものづくり事業所の課題解決を図り、本市での操業を支援しています。

ハード面では、地元ものづくり企業の事業用地に関するニーズ調査を行い、ニーズを踏まえた事業用地の確保について検討をしていきます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、同じページの7款1項6目、下段のほうですけども、観光イベント推進業務についてお伺いします。昨年は3年ぶりに花火大会が開催されました。令和4年度の収支を基に、令和5年度の実施計画についてお伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 令和4年度の花火大会につきましては、コロナ対策あるいは防災対策に重きを置きまして、数々の見直しを行いながら、新しいスタイルの花火大会として、3年ぶりに開催いたしました。

主な見直しとしましては、花火大会の時間短縮をはじめ従来型栈敷席の廃止や新たな升席の設置などを行っております。

また、令和4年度花火大会の収支につきましては、従来型栈敷席の設置費用が減額となったものの、新しい升席の設置や安全対策などの増額要因もございまして、市と観光協会の収支を合わせました全体収支としましては、従来と同規模となりましたが、新しい市費の投入を行うことなく、新しいスタイルの花火大会への移行を完了しております。

一方、令和5年度の花火大会につきましては、8月5日（土曜日）の開催を目指しまして、大河ドラマで盛り上がる岡崎の一大イベントとして計画をしております。煙火打上費と安全対策費を柱といたします本市の令和5年度当初予算につきましては、令和4年度と同規模の額を計上しております。

本番に向けた具体的内容につきましては、引き続き花火組合あるいは警察等と協議により検討しておりますが、令和4年度花火大会の新しい手法をベースに、市民、事業者、観光客の満足度がさらに高まる花火大会を目指しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 家康行列の開催が秋に延期されましたけれども、何か今年ならではの演出の予定があるのか、お伺いします。また、行列以外のほかのイベントについても、今年ならではの内容があれば併せてお伺いいたします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 春から秋への延期を発表いたしました家康行列につきましては、先日、3月4日（土曜日）に、多くの御応募をいただいた中で、行列参加者選考会を完了したところでございます。本市としましても、来る秋の本番に向けまして、大河ドラマ「どうする家康」で盛り上がる岡崎を象徴するイベントとするために、大河ドラマキャストの参加も含めまして、引き続き関係機関との調整を進めてまいります。

また、行列以外の各種イベントにつきましても、来月4月に開催予定であります岡崎将棋まつりが30回の節目を迎えるに当たりまして、地元愛知県

瀬戸市出身の藤井聡太竜王をはじめ10名のトップ棋士をお迎えし、過去にないスケールで開催をしております。

ほかにも活動2年目となります市民参加の紙甲冑づくりワークショップにおきましても、令和5年度末には総勢40名の市民紙甲冑隊を組織できる体制となりますので、本市観光の新しい目玉が誕生する計画となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、おめくりいただいて397ページ、一番上ですけれども、観光プロモーション推進業務について、この中で、新たにオーディオガイドだとかデジタルハイキングといった取組により、市内の回遊促進を展開していくとのことですが、これら事業内容の詳細についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 導入を計画しておりますオーディオガイドにつきましては、観光客がスマートフォンを使って、旅の前あるいは旅の途中、さらには旅の後でも観光情報を聞くことのできる新しいタイプの音声ガイドサービスでございます。最近はこうしたサービスを日常から利用する世代が増えておりまして、御自身の教養や知識を高める様々なタイプのオーディオガイドサービスが登場をしております。本市においても、こうした民間サービスを活用して、本市の重厚な魅力をストーリー性豊かに伝えることに重きを置きながら企画をしております。また、収録する音声につきましても、本市出身の著名人やアナウンサーの起用も検討しております。

また、デジタルハイキングにつきましては、あらかじめ決められた日時にコースを回る従来型のウォーキングイベントを進化させまして、日時は限定せずに、ある一定期間をデジタルウォーキングイベントとして設定をいたしまして、好きな日時に参加できる環境を市民や観光客に提供するものでございます。

スマートフォンを使いながらGPSと連動した

チェックポイントを回り、コース周辺の観光スポットや飲食店などに立ち寄っていただき、お得なクーポンを受け取っていただきながら、周遊による観光消費につなげてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、7款最後になります。

399ページ、中ほどです。「どうする家康」活用推進業務についてですけれども、大河ドラマ活用委託料の主な内訳と目玉になる事業についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

大河ドラマ活用委託料の主な内訳は、大河ドラマ館の展示替え3,700万円、大河ドラマのキャストを招聘したイベントやイベントに伴う警備5,500万円、シンポジウムや大河ドラマ館イベントなどに6,435万円、大河ドラマ館の効果測定としまして1,210万円、乙川河川緑地などの臨時駐車場運営としまして2,820万円のほか、春の桜まつり期間の渋滞対策として実施しますパーク・アンド・ライド3,008万4,000円などでございます。

また、目玉事業につきましては、ドラマの進行に合わせまして行うドラマ館の展示替えになります。現時点では2回程度の展示替えを考えておりますが、ドラマの進行に合わせて展示替えの規模や実施時期及び回数の検討を行ってまいります。

なお、初回の展示替えですが、ドラマの舞台が岡崎から浜松に移ったあたりのゴールデンウィーク前の実施に向けて現在調整を進めております。

また、キャストを招聘したイベントを実施し、市民の皆さんと一緒に岡崎やドラマを盛り上げていきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） お願いします。

395ページです。7款1項6目です。観光イベント推進業務であります。観光客の入り込み客

数のピークについて、どのようにお見込みをしているのか、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 観光客にしましては、例えば桜まつりでありますと、例年桜の満開時期と重なります土曜日と日曜日にピークを迎えております。令和5年度におきましては、4月の1日あるいは4月の2日の土日にピークを迎えると予想しております。

ほかにも「どうする家康」の影響もございますけれども、ゴールデンウィークをはじめ花火大会や家康行列に多くの観光客が訪れるものと見込んでおります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に、397ページです。観光費の中の観光プロモーション推進業務です。

これでまたゴールデンウィーク明けに外国人観光客も増えてくるということが予想されていますが、令和5年度におきまして、インバウンドの戦略はどのようにお持ちなのか、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 令和5年度におきましては、回復傾向にあるとされますインバウンドのトレンドを把握するためのインバウンド商談会への参加をはじめ、市内観光事業者の受入れ対策を構築するための外国人モニターツアーの開催、あるいは引き続きでありますけれども、市民の外国語ガイドの育成に努めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。同じページです。岡崎観光伝道師活用業務ということで委託料が出ておりますが、その内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 現在、市が任命をしております東海オンエアをはじめ、音楽グループのH△G、あるいは俳優の佐野勇斗さん、

そしてオカザえものの4組の観光伝道師それぞれと連携をした事業を計画しております。

それぞれの得意分野、例えば東海オンエアであればユーチューブの動画の撮影、H△Gであればミュージックビデオの制作などを岡崎の名所や魅力的なスポットを交えながら制作するといった計画でございます。岡崎市×観光伝道師のコラボレーション事業を展開していく予定となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 東海オンエアさんが突出してイメージにありますので、ほかの皆さんの活動というのがなかなか頭に入ってこない、知らしめることができていないというふうに思っております。令和5年度ではどのような観光宣伝をしていくのか、してもらうのか、その辺のところの計画をお知らせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 例えば音楽グループH△Gの場合でありますけれども、令和4年度と同様に、年間2本、市内の観光スポットを交えてのミュージックビデオの撮影とユーチューブでの公開を計画しております。

ほかの観光伝道師に関しても、予算の範囲内で動画撮影やイベント出演を行っていただく計画です。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） では、399ページに移ります。観光費の中の「どうする家康」活躍推進業務ということですが、大河ドラマの進行上、ドラマが岡崎の地を離れていった後、誘客はどのようにしていくのか、お考えをお知らせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

力のあるところですが、まずスタートが重要であると考えております。ドラマの舞台が岡崎ということもありますが、スタートで岡崎をしっかり

盛り上げて、ドラマ本編でも盛り上げていくことが肝要だと考えております。

ドラマの舞台が岡崎から離れても、ドラマ自体の話題性が高ければ、大きく落ち込むことはないと考えておりますが、夏頃までは旅行会社などの団体客誘致の営業に注力をしてまいります。

また、個人客の誘致に向け、公共交通機関とのタイアップや大河ドラマ館来館者特典などのインセンティブを展開するほか、ほかの大河ドラマ館来館者に向けたPRとして、浜松・静岡エリアでの広告宣伝の割合を増やしてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 同じところですか。もう2点ほどお伺いします。大河ドラマ館の前売りチケットの販売状況、団体との先行販売状況、年間パスポートの売行きについてお聞かせをいただくのと、パブリックビューイングを今後行う計画はあるのか、併せてお願いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

前売りチケットは、12月1日から大河ドラマ館オープンの前日の1月20日までの約50日間で販売を行いました。約1,700枚が販売されました。

また、2月末時点となりますが、企業など団体向けの先行販売は約11万7,000枚、年間パスポートは約2,500枚以上が販売されております。

続きまして、パブリックビューイングやトークショーなど、大河ドラマを活用して本市を活性化させる取組につきましては、NHKなどの関係者と調整を行い、実施できるように努めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 暫時、休憩いたします。

午後0時9分休憩

午後1時15分再開

○分科会委員長（畑尻宣長） 休憩前に引き続き

会議を開きます。

近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、予算説明書の395ページ、1項5目、ものづくり産業・新産業の振興というところございまして、産業立地誘導地区開発推進業務1,031万6,000円とありますが、ここで令和5年度に実施予定の業務の内容を伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 二つの業務を行う予定でございます。

一つ目は、小針地区の産業立地誘導地区における道路整備業務でございます。

二つ目は、産業立地誘導地区のうち複数地区を選定し、周辺環境や法規制などの調査を行いまして、土地利用計画を作成する業務を実施する予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 小針地区の産業立地誘導地区での道路整備事業の業務内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） 小針地区産業立地誘導地区での道路整備事業につきましては、用地取得に必要となる用地測量、土地鑑定、土地評価業務と拡張を行う道路と原道とのすりつけを滑らかにするために必要な道路測量予備設計業務を実施する予定です。

当初予算としましては、土地鑑定手数料及び土地評価委託料について計上しておりまして、用地測量及び道路予備設計業務については、令和4年度から繰り越した予算にて実施する予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、同じページですが、1項6目観光費、お願いします。2の観光地経営の展開のところの一つ目のポチ、岡崎市観光協会補助業務3,990万4,000円の中の岡崎市観光協

会補助金が昨年度に比して1,160万3,000円の増額となっていますが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 補助金増額の主な理由といたしましては、令和5年1月に岡崎公園にオープンをいたしました土産店の中に併設しております観光協会の観光案内所に係る人件費等でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） ページをおめくりいただきまして、397ページが一番上のポチに観光プロモーション推進業務9,023万9,000円とございます。その中で、若き家康公プロモーションを行うと伺っております。これについて具体的な計画があればお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 若き家康公プロモーションは、家康公が10代後半から20代にかけまして、ふるさと岡崎に帰還をし、天下統一の基礎を築いた史実に倣いまして、10代から20代のいわゆるZ世代の観光誘客のターゲットといたしまして、若者文化と歴史観光を掛け合わせた観光戦略として進めております。

今年度、令和4年度につきましては、11月下旬から12月にかけて、岡崎公園から松本町の松應寺までを歩く宵まいりイベントを周辺の飲食店などと連携して、初めて実施をいたしました。

令和5年度におきましても、同様の期間を軸に宵まいりイベントの企画をし、岡崎公園で大河ドラマ館や岡崎城を御覧いただいた後に、町なかへ足を延ばしていただく周遊策として、地元店舗等々と連携いたしまして企画をし、ナイトタイムエコノミーの活性化を図ってまいります。

また、町なかで展開いたしますイルミネーション等の装飾コンテンツにつきましても、公共施設にとどまらず、周辺の神社やお寺、協力店舗の店先など、幅広い施設やシーンで展開できるよう、地元の皆様と調整を進めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 同じページです。5の観光情報の発信の中の二つ目のポチに観光情報システム運用・活用業務308万9,000円がございます。

その業務内容についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 観光推進課長。

○観光推進課長（加藤健一郎） 本業務は本市の公式観光サイト「岡崎おでかけナビ」のシステム保守やアクセス集計等を行う業務であります。

令和5年度におきましても、当サイトを活用いたしまして、引き続き最新の観光情報を広く提供し、本市を訪問する観光客の利便性向上に努めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、399ページ、「どうする家康」活用推進業務の中の広告料の内訳をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

広告料は、大樹寺周辺の電柱広告及び新東名高速道路岡崎サービスエリア内にあります岡崎PRブースでの広告料でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） では、その広告料のうち、大樹寺周辺の電柱広告はどのようなものでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

大河ドラマ「どうする家康」の影響で、大樹寺には多くの観光客の方がお見えになっています。しかし、大樹寺及びその周辺では、駐車場が不足していることから、鉄道や路線バスでの利用を促しているところです。

大樹寺のバス停から大樹寺へ観光客の方をスムーズに誘導するために、道中の電柱9本を活用

し、案内矢印を付した広告看板を設置しており、令和5年度末までの広告料を計上しております。

なお、この広告看板には、家康公や大樹寺をイメージさせるような標語も表示されておりますが、大樹寺小学校の4年生から6年生の児童の皆さんが昨年の夏休みの宿題として考えてくださったものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 7款、最後の質問です。岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会負担金1億6,123万3,000円の内訳についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 「どうする家康」活用推進課長。

○「どうする家康」活用推進課長（桑山めぐみ）

岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会への負担金の主なものとしましては、大河ドラマ館の運営委託料となります。そのほかにも大河ドラマ館のPRイベント事業費や協議会のロゴマークを使用した啓発物品の製作などを行うための費用を見込んでおります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三塩委員。

○委員（三塩菜摘） 1点のみ、お伺いいたします。

389ページ、ふるさと納税活用業務につきまして、こちら、昨年12月からペイペイ商品券を導入されておりますが、その概要と対象店舗、店舗数、また使用期限があるのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 商工労政課長。

○商工労政課長（木和田佐奈枝） ペイペイ商品券は、ふるさと納税サイト「さとふる」で寄附することにより取得できる電子商品券です。ペイペイアプリを通して対象店舗での支払いに利用できます。対象店舗は市内の地場産品基準を満たした商品やサービスを提供する飲食店、宿泊業、理美容をはじめとするサービス業、レジャー施設です。現在、約1,200店舗で使用可能でございます。使用期限は、ペイペイ株式会社の規定によりまして、寄附申込みから180日となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、8款土木費、御質疑はありませんか。

三宅委員。

○委員（三宅健司） 1点だけお願いします。

441ページの8款6項2目の公園費、公園維持管理業務ということで、岡崎中央総合公園スポーツ施設管理運営委託料の増額の理由、そしてもう一つが機械器具購入費の増額の理由ということで、2点お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） まず、一つ目のスポーツ施設管理運営委託料の主な増額につきましては、プロ野球オープン戦誘致のための費用として560万円の増額、電気、ガスの価格上昇に伴う水道光熱費の1,801万4,000円の増額をしたためです。

次に、機械器具購入の増額の理由としまして、卓球台5台に126万8,000円、野球場スコアボード用システムに308万円、球速計測システム（スピードガン）に1,727万円、防球ネット用台車に78万8,000円の備品を購入するため、前年と比較すると、1,812万9,000円の増額となりました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） プロ野球オープン戦の招致ということでお話がありましたけども、中日ドラゴンズが相手先だと思いますが、どのような話合いになっていくのかということと、公式戦をぜひにという声もあるんですけども、これについてはどうなのか、併せてお願いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） プロ野球の誘致につきましては、毎年、中日ドラゴンズの球団及び中日新聞社様と会議を設けて、開催に向けて調整をしております。

続きまして、公式戦につきましては、球団の都合上、三河地域はナゴヤドームの集客範囲ということで、公式戦の開催は難しいとのこと。そのため、誘致する試合はオープン戦となります。

なお、誘致のためには2,500万円ほどの経費が必要と聞いております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、10款教育費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、予算説明書の497ページをおめくりください。10款4項1目で、中段、真ん中ぐらいです。情報教育推進業務がございますが、今回、電子黒板の整備をリースではなくて購入にするとお聞きしましたが、その理由についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

今回の購入に当たっては、デジタル田園都市国家構想交付金を活用する予定でございます。活用するに当たって、リースでは令和5年度分のみが補助対象となりまして、一般財源での負担が増加することから、交付金を最大限に利用できる一括購入を前提とした業務委託といたしました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 電子黒板を中学校に導入した後の効果測定についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

導入後のアンケート結果でございますが、授業が分かりやすくなったと感じている生徒の割合は、とても思うが76%、少し思うが15%で、両者を合わせた肯定的な意見が91%でした。

一方、よりよい授業づくりに結びついていてと感じている教員の割合は、とても思うが84%、少し思うが12%で、両者を合わせた肯定的な意見が96%でした。

このことから、生徒、教員共に、電子黒板の導入によって、よりよい授業実践が行われ、学びの質が向上していると捉えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） よい効果が出ているという

ことでよかったと思います。

生徒や教員にとっての具体的なメリットについてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

先ほどのアンケートによる生徒側の主な感想としましては、大きくてはっきりと見やすい、デジタル教科書の提示によって理解しやすい、書き込みによる解説が分かりやすい、図や写真が多く使われるようになってイメージしやすいなどがありました。

教員側の主な感想としては、生徒の注目を引きつけやすい、授業準備が効率的になった、拡大、縮小の表示ができて便利である、授業内容の保存や読み出しができるので、生徒の意識が連続するなどがありました。

このことから、生徒側には学びやすさや理解のしやすさ、教員側には指導のしやすさや業務の効率化などのメリットが生まれていると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 続きまして、521ページになります。10款5項6目ですが、美術館施設保全業務について、来年度の施設保全工事の概要についてお伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 美術館長。

○美術館長（村松和明） 来年度の施設の長寿命化を図るための保全工事である美術館外壁改修工事でございます。工事の概要ですが、主に経年劣化した外壁に使われているタイルが浮いた箇所の補修やひび割れたタイルの張り替えを実施する改修工事となっています。市民の皆さんに安心して利用いただける施設を今後も引き続き提供してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 続きまして、23ページ、10款5項7目、美術博物館企画展開催業務ということで、下のほうですけれども、来年度の展覧会の概

要についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 美術博物館長。

○美術博物館長（前島 豊） 令和5年度は、今年度実施した改修工事に伴う復旧作業及び開館準備のため、6月末までを休館とし、7月から4本の展覧会を開催いたします。

7月1日から開催しますNHK大河ドラマ特別展「どうする家康」では、260年にも及ぶ泰平の世の礎を築いた徳川家康、その生涯において重要なターニングポイントとなった出来事を、全国から厳選を重ねた国宝、重要文化財50件以上をはじめ、約150件の優品を通してひもといていきます。今年度購入の徳川家康書状も、目玉展示の一つとして紹介いたします。織田信長、武田信玄、徳川四天王など、家康に影響を与えた人物ゆかりの資料も交え、家康が迫られた決断や人物像を浮き彫りにしていきます。

また、会場で有料貸出する音声ガイドのナビゲーターには、大河ドラマ「どうする家康」で愛の方を演じる俳優の広瀬アリスさんに担当していただくことになりました。幾多のどうするに満ちた家康公の生涯を、大河ドラマとは違った角度から御覧いただければと思います。

9月16日から開催します「至高の紫 典雅の紅 王朝の色に挑む」は、染織を中心にした展覧会です。京都で江戸時代より続く染色工房の当主であり、染織史家の吉岡常雄・幸雄親子が手がけた自然の染料による日本の伝統色の再現及び社寺の祭祀や、源氏物語に見る色彩や装束の再現など、王朝の華やかな色彩を御紹介いたします。

11月19日から開催します「THE 禅—三河武士と曹洞禅—」は、三河地方の曹洞宗寺院に伝わる至宝を一堂に会し、禅文化の粋を御紹介します。

また、寺院に深く関係した松平家など三河武士との結びつきを示す資料により、禅宗寺院と武家をめぐる三河の歴史をたどります。

これまで説明した3本の展覧会では、岡崎大河ドラマ館とも連携をし、相互割引を実施いたします。加えて、NHK大河ドラマ特別展「どうする家康」では、市民割引も実施いたします。

年明け1月27日から開催します「レアリスムの視線—戦後具象美術と抽象美術」は、レアリスムという視点から、具象美術と抽象美術を紹介する展覧会です。近年当館が収蔵したフランス具象画壇を代表するベルナール・ビュフェの作品や黎明期のシュールレアリスムの美術から、戦後の抽象表現に至るまでを御紹介いたします。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） ありがとうございます。楽しみにしています。

それでは、525ページですが、美術博物館施設等整備業務についてですけれども、実施設計委託料の内容について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 美術博物館長。

○美術博物館長（前島 豊） 実施設計は、美術博物館第2期改修工事に係るものです。今年度、基本設計を実施しており、それに引き続き実施設計を行うものです。

今年度実施の第1期改修工事では、7月に開催いたしますNHK大河ドラマ特別展「どうする家康」を良好な環境の下、安全に開催するために、空調設備の更新や受変電設備の一部更新、昇降機2基の更新、展示室照明設備の更新、展示ケースの改修等を前倒しする形で行いました。

続く第2期改修工事においては、第1期改修工事の期間内では改修できなかった施設全体の改修を行う予定です。

具体的な工事内容としては、雨漏りの改修、館内照明施設のLED化、トイレ改修など、施設の安全性を高め、来館者に快適に過ごしていただくための改修を予定しております。

美術博物館は、令和8年度に開館30周年を迎えるため、それに向け令和6年度から7年度にかけて改修工事を実施できるよう、進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 続きまして、535ページ、10款5項12目、図書館交流プラザ施設保全業務に

についてですが、施設保全工事請負費の内容について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（加藤恭典） エレベーター2基を現行の建築基準法に合わせるために改修するものになります。

主な内容は、地震の揺れを感知したときに、最寄りの階に停止させる装置や何らかの故障で扉を開けたまま動き出さないよう、二重ブレーキなどの安全装置の取付け、エレベーターを巻き上げるロープの外れや絡まりを防止する装置などの安全対策を行うものになります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、その下段、図書館交流プラザ施設整備業務の中で、施設整備工事請負費の内容について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（加藤恭典） 東出入口に設置してありますロータリーのひさしの耐火塗装、火災から建築物を守るための塗装がしてあるわけですが、その塗装が劣化してきているため、塗り直しを行うというものになります。現状の塗装を剥がしまして、下地処理をした後、再度塗り直しを行います。

また加えて、はりの部分には塗装の劣化を防ぐため、金属製のパネルを取り付けて囲うようにするというような作業も予定はしております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、今回、改修工事を行うことで、どの程度の期間の耐久性があると考えておられますでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（加藤恭典） 劣化を防ぐため、金属製のパネルを取り付けるということでありまして、定期的な保守を行うということで、20年程度の耐久性があるというふうに考えております。

以上であります。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 私から、10款、最後の項目ですが、541ページになります。10款6項1目、国際大会等誘致業務ですが、この内訳について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 旅費として34万7,000円、国際スポーツ大会等推進委員会負担金として1億896万7,000円、愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会負担金として75万6,000円です。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） 昨年度に比べ、国際スポーツ大会等推進委員会の負担金が大幅に増えているようですが、その内訳についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） WRCの事前PRに1,472万9,000円、WRC当日運営に8,896万4,000円、モンゴルキャンプ関係に349万3,000円、スポーツコミッション関係に178万2,000円です。このうちWRC当日運営の8,896万4,000円は、昨年度まで主催者が行う事業として、本市の当初予算には計上しておりませんでした。しかし、来年度の主催者が豊田市になりまして、つい先日、豊田市から今年の開催場所が正式発表され、岡崎市では、中央総合公園と額田地区が会場となり、各市町に設定されるコースの当日運営は各市町が行うという形になりました。このため、当日運営を行う経費を当初に計上し、増額したものであります。

なお、当日運営を各市町が行うことに伴いまして、これまでチケット収入は主催者の収益であったものから、各市町でかかる費用はチケット収入を充ててもらえることを確認しております。

また、中央総合公園は、2019年にセントラルアリーを開催しており、多くの方に来場していただいた会場であります。その経験を生かして、昨年以上の観客を誘客できるように大会を盛り上げて

いこうと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会負担金の内訳について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 昨年度延期になりました中国、杭州で行われるアジア大会への視察をするための費用でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） ありがとうございます。

それでは、私からの最後の質問ですが、26年のアジア大会に向けて準備が必要と考えますが、国際大会を誘致するために、競技場はある程度国際基準に従って整備すべきだと思います。25年にはプレ大会も行われ、アジア各国から選手が大会に参加されることも想定されますが、どのような整備をされていきますか、伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） アジア大会に向けての整備内容は、アーチェリー会場である中央総合公園多目的広場、バレーボール会場である同じく体育館の改修工事であります。

スケジュールとしましては、令和5年度に設計、令和6年度に工事を予定しております。

詳細については、まず中央総合公園の多目的広場については、競技の面で指摘を受けている排水をよくするための配管工事と芝の張り替えをする予定であります。

そのほか、大会運営に必要な諸室、更衣室、大型表示装置、照明、観客席、不足するトイレ等の施設については、仮設で設置する予定で進んでおり、仮設にかかる費用は3分の2が組織委員会の予算、3分の1が市の負担となります。

また、中央総合公園体育館では、段差解消のためのバリアフリー工事、アジア各国からの来場者に対応するためのトイレ改修、照明のLED化、Wi-Fi通信環境整備を行います。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） ページ数、お戻りいただきます。485ページ、下段のあたりにありますが、10款2項1目の小学校校舎改修業務と、それから491ページの下段の辺にあります10款3項1目の中学校校舎改修業務を併せてお聞きします。市産材調達管理基金繰出金の内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） これまで工事における杉やヒノキの利用については、建設業者が受注後、木材の発注から納品までに相当の期間を要するために、一般に流通しているあいち認証材を指定してきました。

来年度以降は、昨年9月定例会で議決をされました岡崎市市産材調達管理基金条例に基づく基金を活用し、木材調達を先行して行うことができるようになったため、岡崎市産材の使用が見込めることとなりました。本繰出金は、岡崎市産材の受け取り時に基金に支払う予算として計上しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、校舎のどのような場所にこの岡崎市産材の材料を使う予定でおりますでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 岡崎市産材の木材を使用する場所は、主に校舎内の教室北側の廊下の床から1メートル程度の高さの腰壁に使用していきます。内装を木質化することによりまして、児童生徒に柔らかくで温かみのある感触を与え、優しい教育環境となるように整備を進めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 487ページの中段あたりを

お願いします。10款2項1目にあります小学校附帯施設改修業務について、これは機器賃借料が新規で計上されておりますが、内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 機器賃借料の内容は、学校の登下校で使用する門に向けて設置する防犯カメラの小学校16校分の費用です。令和5年度から11年度までのリース契約を予定しておりまして、今回は令和5年度分のリース料を計上させていただいております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） これまでは工事により設置をされてきたというふうに伺っておりますが、今回、この工事からリース契約に変更した理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 防犯カメラの設置は、これまで工事発注により年5校ずつ設置を進めてきましたが、単年度に多くの工事費が必要となり、全校への早期設置が難しいことが課題となっております。このため、工事発注とリースを比較検討したところ、リースは事業費の平準化が図られ、総事業費も安価となり、早期に設置できることが確認できたため、工事発注からリースに変更することいたしました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） ありがとうございます。

では、ページ数変わりました、493ページ、10款3項2目の下段あたりになると思いますが、新規事業として、中学校遠距離通学対策補助業務について伺います。

事業を実施するに当たっての経緯をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

本年度12月議会の一般質問において、遠距離を自転車で通学する生徒に対する支援の考えはないかとの御質問をいただき検討してまいりました。

そこで、教育委員会としましては、市内公立中学校へ自転車で遠距離通学する生徒の負担軽減を図るため、自宅から中学校までの片道の距離が6キロメートル以上となる生徒などを対象として、通学に使用する電動アシスト自転車の購入費の一部を補助する制度を新たに創設することいたしました。

また、令和5年度末をもって額田中学校の敬信寮が廃寮となり、自宅からの通学となることから、その代替手段の一つとしても活用いただけるものと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、この遠距離通学をする想定人数の内訳をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子） 想定では55人を見込んでおります。内訳としましては、7割以上が東海中学校の生徒で、そのほか、額田中学校、常磐中学校に対象となる生徒が数人いると見込んでおります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、実施時期についてですが、いつ頃を想定しておりますでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子） 本事業は、令和6年度に中学校に入学・在学する生徒を対象と考えております。そのため、事前に購入できるタイミングで、本年秋頃には運用を開始できるように準備を進めてまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 変わって、499ページ、下段あたりになります。10款4項1目、水泳授業支援業務について伺います。

主な増額の内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

主な増額の内容は、令和5年度における本事業のモデル校を増やしたことにより、水泳指導員派遣手数料及び会場使用料が増額したものです。令和4年度はモデル校として小学校3校、中学校1校で事業を展開いたしました。令和5年度は、さらに小学校1校、中学校1校を加え、計6校で展開する予定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 今後についての考え方をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

モデル校での本業務終了後に実施しました児童生徒、保護者、教員と民間水泳事業者へのアンケートや意見収集による本事業に関する評価は、きれいな環境での水泳の授業が楽しかった、水泳インストラクターによる専門性の高い指導により子供の水泳技能が高まった、プールの維持管理が不要になるなど、肯定的な意見が多く、児童生徒の泳力や興味・関心、安全性の向上、教員の負担軽減及びプール施設維持管理費の削減など成果が得られました。

その反面、民間施設の継続的な確保と教科担任制である中学校の時間割編成を課題として捉えることもできました。今後につきましては、モデル校での成果と課題を踏まえ、事業の拡大や方法を検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、変わりました、539ページの下段あたりにあります令和5年度の重要事業ですけれども、10款6項1目、スポーツ施設整備業務の内訳についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 堤下公園駐車場拡幅設計に477万4,000円、マレットゴルフ場新設工事に4,799万8,000円、福岡小学校夜間照明新

設工事に6,178万3,000円、明神橋公園運動場夜間照明用キュービクル内トランス取替工事に260万7,000円、日名公園運動場夜間照明用キュービクル内トランス取替工事に235万4,000円でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） マレットゴルフ場を設置することになった経緯について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 平成26年度にマレットゴルフ連絡会から、マレットゴルフ場の整備要望があり、連絡会と勉強会を重ねてまいりました。その後、マレットゴルフ連絡会がマレットゴルフ協会へと組織化され、マレットゴルフ場の整備を仁木運動広場で検討を進めました。しかし、コースや駐車場の規模、水道やトイレ等の設備に河川敷ならではの制限がかかってしまうことが判明し、再検討することとなりました。その後、候補地を探していたところ、大門河川緑地で規模、設備とも要求を満たす整備ができることが分かり、令和4年度に設計を行いました。

以上の経緯を経て、令和5年度に大門河川緑地にてマレットゴルフ場の整備をすることとなりました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 36ホールのマレットゴルフ場を整備するということですが、マレットゴルフ協会と行政との間はしっかり連携を取っておりますか、確認をさせてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） マレットゴルフ場のコース、各ホールのレイアウト、施設全体の規模など、マレットゴルフ場に求められる整備につきまして、実際の使い勝手を想定し、ふだん活動を行っているマレットゴルフ協会に助言をいただきながら設計をしております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） マレットゴルフ場の整備をされるということで、大門の河川緑地での駐車場では不足かということをおもいますが、いかがでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 大門河川緑地での駐車場拡幅は難しいため、近隣にある堤下公園の駐車場の拡幅を想定しております。そこで、令和5年度は堤下公園の駐車場拡幅設計を行う予定でございます。

この堤下公園では、周辺道路の路上駐車が以前より課題であり、近隣住民の住環境の改善も併せて解決していきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 以前より福岡中学校区になかった夜間照明設備の新設工事が予定をされておるようですが、新設する理由と内容、工事期間についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 福岡中学校区は、区域内に都市公園運動場や同等の施設である運動広場がなく、学校開放や近隣の中学校区の施設を利用しております。本市のスポーツ施設配置整備方針では、このような学区に対し、運動広場または学校開放夜間照明設備の設置を進めていることから、地域のスポーツ振興及び学区内での大会開催のため、福岡小学校に夜間照明を設置するものです。

工事の内容は、グラウンド内で安全にスポーツができるように照度を計算し、コンクリート柱にLED投光器を備えた照明塔4本をバランスを考慮して配置した設計となっております。設計は、令和4年度に行っております。

工期については、これから調整する予定ですが、小学校のグラウンド内に設置をすることから、子供たちへの安全対策や授業への影響をしっかりと配慮して工期を決定していこうと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、ページ数が変わります。543ページの上段あたりになります。10款6項2目体育館費の中の岡崎市体育館施設整備業務について伺います。

岡崎市体育館の整備について、令和2年度に基本設計が行われ、令和5年度に実施設計を行うとのことですが、内容を聞かせてください。

また、基本設計後、すぐに実施設計が行われなかった理由も併せてお聞きします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 体育館長。

○体育館長（五十嵐千草） 内容は、アリーナ既設天井の撤去及びアスベストの除去をはじめ、床の更新やエントランス前、外部プラットホーム床の防水施工を予定しております。

また、岡崎市スポーツ施設配置整備方針に基づき、熱中症対策や脱炭素化を進めるため、アリーナにおける空調設備の導入や照明のLED化も計画しております。

すぐに実施設計を計上できなかった理由は、空調設備導入の必要性について検討をしていたからでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 最後、もう一つ聞きます。このほどの実施設計に空調設備を加える必要性についてお聞きをしておきます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 体育館長。

○体育館長（五十嵐千草） まずは、市体育館利用者にアンケートを取り、81.5%の利用者が空調導入を望まれていること、また費用負担をしてもよいとの回答を得ました。

次に、夏場の市体育館は、熱がこもりやすいという特性があり、コロナ禍で換気をしているにもかかわらず、屋内温度が35度以上になることが多く、今まで熱中症による被害が出ていませんでしたが、今年度、救急搬送をする事案がありました。

また、スポーツ利用されているお子さんと同じフロアで観覧されていた保護者からも、暑さ対策を早急にしてほしいとの声もいただきました。

さらに、市体育館は避難所として指定を受けているため、避難所生活が長期になる可能性もあり、有事の暑さ対策においても空調設備導入は急務であると考えられます。

加えて、市体育館に空調設備が導入されると、中央総合公園体育館棟等で行われる中学校市長杯をはじめ、市主催のスポーツ事業を市体育館に誘導することができ、中央総合公園体育館棟等では空いた枠にVリーグ、Bリーグ、Tリーグをはじめとする興行誘致を進め、より集客力のある事業展開を推進することができます。

以上の経緯により、空調設備導入が必要であるとの見解に至りました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） では、483ページからお願いします。3目の私立学校振興費、私立高等学校等授業料補助業務ですが、年々この該当者数が減っているということがあります、この理由についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

令和2年度から国、県の補助が大幅に拡充されたことにより、授業料の実質負担額が減少し、本市の補助対象者が令和2年度に大幅に減少しております。その後の減少につきましては、高校の授業料の見直しや生徒数の減少などが要因であると考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。485ページです。大樹寺小学校の工事の関係、それから甲山中学校の工事の関係、先ほど腰高の市産材を使っていくというお話がありましたけれども、木材の使用量はどのくらいになるのか、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 初めに、大樹寺小学校中棟の大規模改修工事につつま

して、木材を使用する部分については、教室北側の廊下延長約60メートルの腰壁などに使用し、木材使用量としては約2.0立方メートルを予定しております。

次に、甲山中学校南棟の大規模改修工事ですが、教室北側の廊下延長約115メートルの腰壁などに使用しまして、木材使用量としては約3.0立方メートルを予定しております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。491ページです。学校管理費、中学校校舎改修業務の中に校舎等特別整備工事請負費とありますが、この内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 工事請負費の内容は、甲山中学校の大規模改修工事に伴う機械設備機器の移設、また来年度学級数増加や校内フリースクールの開設に伴い、竜南中学校をはじめ、5校の余裕教室にエアコンを設置するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） それから、493ページ、同じかな。1目学校管理費です。中学校附帯施設改修業務、矢作北中学校の一部を改修していくと聞きました。私も現場を見てきましたが、倉庫が大分傷んでおると確認しております。倉庫改築工事請負費の内容についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 倉庫改築工事請負費の内容は、矢作北中学校の屋内運動場南側の老朽化した倉庫を改築するもので、木造平屋建て床面積約30平方メートルの倉庫を建築いたします。

また、倉庫南側の利活用されていなかったビオトープ跡地をグラウンドとして整備する工事も併せて行います。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。493ページの2目の教育振興費、中学校遠距離通学対策ということで、私からは、先ほど条件が6キロメートル以上ということがありましたが、条件を満たさない生徒さんについて希望があった場合はどのような対応になるのか、お聞かせをください。

もう一つ、それから駐輪場に自転車をとめていくわけですが、盗難防止等の対策、これについてどうしていくのか併せてお願いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

今回の本事業は、6キロメートルを超える距離を自転車で通学する生徒を対象に、学校を通じて補助申請をしていただく手順を考えております。通学に電動アシスト自転車を許可する否かは、学校判断と考えておりますが、補助を受ける受けないで判断することはないと考えております。

また、対象校の中には、既に電動アシスト自転車で通学している生徒もいることを把握しております。

もう1点、駐車場内でのトラブル防止対策についての御質問でございますが、盗難等のトラブル防止対策につきましては、学校と協力しながら、注意喚起を含めた対策を検討してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次、497ページです。1目教育指導費で、タブレット型情報端末運用管理業務、新しく取り組むオンライン授業などについてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

昨年度のオンラインサイエンスセミナーをリニューアルして、今年度MIRAIオンラインセミナーを3回実施いたしました。科学分野だけでなく、SDGsや世界遺産などへと学習対象を広げています。例えば、第3回セミナーでは、「ピラミッドの謎に迫る！」というテーマで、新進気鋭

のエジプト考古学者に講師をお願いし、7,000人の児童生徒にとって大変興味深い学習機会とすることができました。オンラインのメリットを生かし、クイズコーナーや質問コーナーを設け、参加型のセミナーにすることができました。次年度も、引き続き子供たちが興味を持ち、オンラインのメリットを生かし、1人1台タブレット端末を活用した事業づくりを推進してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。497ページ、4項1目教育指導費、電子黒板の関係ですが、電子黒板とタブレットの使い方、共有していく使い方もできると思いますが、どのように使っていくのかということ、そしてもう一つは従来の黒板、先生が板書していただく黒板ですが、これとの使い分けについてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長（田中典子）

まず初めに、電子黒板とタブレットの画面共有のことでございますが、タブレットからミラーリング機能によって電子黒板に画面共有することができます。

もう一つの御質問でございます。授業のメインの電子黒板でございますが、現在使っている板書する黒板にも広さや自由さといったメリットがあるため、相互におけるよりよい使い分けが進んでいくものと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。499ページです。学校教育費で、せっかくですので、小学校、中学校の児童生徒の皆さんに大河ドラマ館や岡崎城の見学をしていただけたらというふうに思っておりますし、また学校によっては家康学習をやっている、取り組んでいるところもたくさんあると思います。こういった学校の取組についてどのようなお考えか、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

全小中学校一律での大河ドラマ館や岡崎城の見学の計画はございませんが、見学する意義や情報提供の点から10月定例校長会議の折に、「どうする家康」活用推進課に来ていただき、大河ドラマ館や岡崎城の見学について案内をしていただきました。その結果、各校が計画を立て、見学をしております。

実際の見学状況でございますが、社会科のおかざき学習や総合学習の一環として、2月末までに見学に行った学校数は20校、3月に見学を予定している学校は17校、予約も含め児童生徒約3,200名が見学することとなり、各校が積極的に学習に取り入れ、見学をしております。

例えば、見学に行った学校からは、岡崎城や大河ドラマ館の見学に併せ、岡崎むかし館を見学し、岡崎のよさを見つける学習をしたり、家康学習の発展として見学を行ったりしたなどと聞いております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。同じ499ページです。1目教育指導費、特色ある学校づくり推進業務で未来型教育推進委託料の内容についてお知らせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

市内小中学校のICTやオンライン等を活用した教育活動に対し、必要となる推進事業費の支援を行い、特色ある学校づくりを推進するものでございます。具体的には、各学校がオンライン出前授業やプログラミング学習、SDGsに関わる探究的な学習、キャリア教育等の未来につながる教育活動に取り組むための事業費です。

また、市内全体で実施するMIRAIオンラインセミナーの事業費でもあります。今年度開催した計3回のセミナーにおいて、延べ約1万3,000人の児童生徒が参加をしております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 同じページです。水泳授業

支援業務です。

小中学校のプール、だんだんと使われなくなっていくことが懸念をされますが、今後の扱いはどういうふうに考えているのか、お聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

水泳授業支援業務によって使用されなくなった本市の小中学校のプールの今後の取扱いにつきましては、本業務が令和3年度から令和5年度までのモデル事業であり、モデル校での検証結果を基に、今後の本事業の進め方を検討していく予定であります。現段階では未定でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。505ページです。4項3目の学校体育費、体育行事活動等推進業務、部活動指導員について聞いていきます。

まず、どのような人材なのか、それから既に内定している人はいるのか、76人にする理由は、それから資格は要するのか、無償か有償か、それから人選はどこがやるのか、それから契約はどこがやるのか、最後に先行地域を設定して行っていくのか、以上、お願いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

まず初めに、人材につきましては、主に大学生のほか、教員OBやスポーツ・文化芸術活動に携わる地域の方を想定しております。

二つ目の内定に関わることでございますが、令和5年4月任用の16名につきまして、会計年度任用職員採用選考の手続を進めております。

三つ目です。令和5年度から76人にする理由でございますが、令和5年度から7年度の3年間で市内255の男女部活動に1人ずつ部活動指導員を配置する計画です。今後、段階的に増員していくために、令和5年度に関しては、これまでの16名に加え60名を足した76名をまず配置いたします。

資格については、必要はございません。

無償かどうかにつきましては、会計年度任

用職員での任用となるため、報酬等の支給がございました。

人選につきましては、教育委員会及び学校が行い、教育委員会で採用選考を行った後に、会計年度任用職員任用通知書を通知いたします。

最後に、部活動指導員の先行地域等につきましてはの設定の予定はございません。実際には、令和4年度は16人の部活動指導員を16の中学校に配置しております。また、令和5年度に増員する60名の部活動指導員につきましては、8月新チームの結成以降、全中学校に生徒数等に応じた配置を考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） では、令和4年度実施をしてきて、よい点、悪い点、いろいろ出てこようかと思いますが、こういった点についてどのような考えをお持ちでしょうか。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

部活動指導員による指導を行っている中で、よい点といたしまして、部活動指導員がより専門的な技術指導を行うことで、子供たちの技術面、意欲面の向上がさらに見られるようになったことでございます。また、部活動指導員の配置によって、顧問の時間外在校等時間が減少したことも挙げられております。

一方、今後も顧問と部活動指導員が綿密に連携し合い、円滑に部活動を運営できるようにしていくことをさらに大切にしていきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。511ページをお願いします。5項2目の青少年費です。子ども若者育成支援業務で、子ども・若者総合相談センターでの成果と課題、それから主な相談内容についてお知らせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 社会教育課長。

○教育委員会事務局社会教育課長（福澤純子）

令和4年10月に子ども・若者総合相談センター、通称、わかサポを設置して以来、2月末時点での相談状況は、令和4年度の上半期と比較して、積極的な広報活動を行っている成果もあり、月平均の延べ相談件数が約3.9倍、新規相談者数が約3倍と、大幅に増加しております。

相談内容では、最も多いものが就労、次に就学や不登校、続きましてひきこもりとなっております。

課題といたしましては、相談件数の増加傾向が続く中で、将来的にも対応できる体制整備が必要と考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 三宅委員。

○委員（三宅健司） 次に行きます。539ページです。6項1目の社会体育費、スポーツ施設整備業務で、マレットゴルフ専用コースの件で、休憩できるような設備——ベンチとか日差しよけとか、そういったものの設置についてのお考えはどうでしょうか、河川緑地ということで条件がつきますか。

○分科会委員長（畑尻宣長） スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山田能正） 駐車場や休憩できるような設備ですが、駐車場は既設駐車場の活用と隣接する堤下公園の駐車場拡幅を検討しており、令和5年度に堤下公園の駐車場拡幅工事の設計を予定しております。

休憩施設については、河川緑地特有の増水対策としての制限があり、常設はできません。そのため、休憩施設を必要とする場合は、随時設置するテント等の活用になります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 予算説明書487ページの小学校施設維持管理業務と同じく493ページの中学校施設維持管理業務のいずれにも照明器具賃借料が新たに計上されておりますが、その内容と対象施設についてお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 教育委員会施設課長。

○教育委員会事務局施設課長（二村雅志） 照明器具賃借料の内容は、LED照明への取替を令和15年度までのリース契約で行うため、令和5年度分のリース料を計上しております。

次に、LED照明への取替を行う対象施設ですが、今後10年程度大規模改修工事の予定がない屋内運動場が58校、また来年度に大規模改修工事を実施する校舎のある学校で、改修対象になっていない校舎等が4校となっております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） 499ページの水泳授業支援業務ですが、令和3年から5年までのモデル事業と、先ほどお伺いしたんですけれども、この段階的にモデル校を増やしてきた中でどのようなことを検証しているのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 学校指導課長。

○教育委員会事務局学校指導課長（熊谷清一）

モデル事業は、水泳授業における指導内容や安全管理などの基本的な検証のほか、実施校により複数の形態に分けて検証しております。具体的には、派遣と委託による契約形態の違いや、一事業所で複数校を前期と後期で分ける形態により、実施時期の違いを検証するなどございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） ありがとうございます。

それでは、513ページ、5項2目青少年費のところ子ども若者育成支援業務がございまして、その中に若者相談委託料2,493万9,000円がございまして。先ほど御答弁で、今年度上半期より体制が拡充されたことと、10月から一緒になったということをお伺いしたんですけれども、今年度上半期と同様の体制で、あと委託料が増えていると思うんですが、昨年の9月までは1.2人工体制で行っていたと聞いております。10月以降の3人工体制に変更しておりますが、月平均が3.9倍になっているという御答弁も、先ほどございました。次年度も3人工体制で足りる状況なのか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 社会教育課長。

○教育委員会事務局社会教育課長（福澤純子）

令和4年10月に子ども・若者総合相談センター（わかサポ）として現在の体制に変更して以降、さきにお答えしたとおり、市民に対して積極的な広報活動を行っている成果もあり、相談件数は増加しておりますが、以前のような待機者を出すことはなく対応できております。

令和5年度も、引き続き相談件数が増加すると考えられますが、現状では委託業者の相談員につきまして様々な資格や数多くの相談経験を有するなど、件数の増加にも十分対応できるものと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、521ページをおめくりください。10款5項5目図書館費です。この図書館費なんですけれども、地域図書室サービス支援業務の中に図書回送委託料というのがございまして、これが債務負担行為を行ったと記憶しております。その金額より大幅に減額となっていると思うんですが、その理由をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 市立中央図書館長。

○市立中央図書館長（鍋田志郎） 図書回送委託料は、図書を各市民センターの図書室などと定期回送しまして、図書の配本及び集荷をするための業務に係る委託料でございます。今年度までは、公益財団法人岡崎市シルバー人材センターに業務委託を行っておりましたが、令和5年度からは貨物自動車運送事業法に抵触する可能性があり、業務を請け負えないということから、民間事業者への委託に変更することにいたしました。

この変更に伴い、事前入札のために債務負担行為として1,347万5,000円を計上しておりましたが、令和5年度予算は747万4,000円で計上しております。

大幅に減額した理由といたしましては、民間事業者への委託へと変更するに当たりまして、当初は現在と同じ回送内容で検討しておりましたが、委託費用が今年度と比べて高額となってしまうた

め、使用車両の台数を減らすということで回送ルートの見直しを行うとともに、特定非営利活動法人岡崎市障がい者福祉団体連合会へ委託しております中央図書館内での図書等の仕分業務の作業工程など、関連する業務の見直しを改めて行いました。

その結果といたしまして、図書等の仕分業務については、従事者の人員を増やすことで変更に対応できるということが確認できました。当初予算としては、図書等仕分委託料は最低賃金などの増額と合わせて、前年対比で266万5,000円の増額となりましたが、図書回送委託料のほうは債務負担行為額からは600万1,000円の減額となりまして、関連業務全体といたしましては予算額の増額を最小限とすることができました。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、おめくりいただきまして、528、529ページ、10款5項9目市民センター費です。市民センター管理運営業務の真ん中あたりに登記用図面作成委託料として39万2,000円の計上があるんですけれども、この内容をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（加藤恭典） 登記用図面を作成する市民センターは、岩津市民センターになります。岩津市民センターの敷地の一部、国道248号と、その西側の延伸予定があります市道岩津仁木堤線の間の土地について分筆する必要があることから、作成をするものになります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、ページをおめくりいただきまして、大分飛びます。542、543ページです。10款6項2目なんですけれども、体育館費の一番上のところのポチに岡崎市体育館施設整備業務の中に実施設計委託料とあります。先ほど体育館の空調の必要性とかについては、自民清風会さんの質問で理解いたしました。

そこで、お伺いします。どのような空調設備設

置を考慮しておられますか、また工事により体育館の休館期間はどれぐらいになるんでしょうか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 体育館長。

○体育館長（五十嵐千草） 実施設計で設置を考えている空調設備は、壁面輻射パネル空調を考えております。この空調方式は、天井から冷気を送風することで冷やすものと違い、壁面パネル内に冷水を循環させ、冷えたパネルの冷気を輻射原理により放射することで、広い空間をむらなく冷やします。

また、体育館内に空気の流れを起こさない特徴があるため、卓球やバドミントンなど風の影響を受けやすい競技に有効と言われております。

大規模改修での休館期間については、令和7年7月から令和8年8月の14か月を予定しており、大規模改修に併せて空調設備工事を行ってまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） では、次、歳入に入ります。

14款分担金及び負担金、御質疑はありませんか。次、15款使用料及び手数料、御質疑はありませんか。次、16款国庫支出金、御質疑はありませんか。次、17款県支出金、御質疑はありませんか。次、18款財産収入、御質疑はありませんか。次、19款寄附金、御質疑はありませんか。

（以上いずれも「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、20款繰入金、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） 119ページをおめくりください。歳入、20款2項1目で、上から3段目、ふるさと農村活性化対策基金繰入金とありますが、この内容と繰入金の活用についてどのように考えているのか、教えてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中山間政策課長。

○中山間政策課長（小林哲夫） この基金は農村活性化の事業費に充てるため、合併前の額田町時代において、国の指導の下、平成5年に設立され

た基金でありまして、愛知県の愛知県中山間ふるさと・水と土保全基金と同時に、連携する基金として位置づけられております。

基金設立当初の考えは、基金から生じる利息での事業を実施する想定のものでしたが、その後、社会情勢の変化により、利息が望めなくなり、長らく基金の取崩しはなく、利息分の積立てのみの基金となっていました。

このことは、愛知県の中山間地域等振興対策会議における第三者委員から愛知県に対して意見があったことから、このたび、本年度10月から開始した寄附型自動販売機からの寄附金を積み立てつつ、地域の暮らしを維持し、多面的・公益的機能が発揮されるよう、基金の一部を取り崩し、6款の山村活性化対策推進業務に充当するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、22款諸収入、御質疑はありませんか。次、23款市債、御質疑はありませんか。次、第2条継続費、3款民生費、御質疑はありませんか。次、第3条債務負担行為、御質疑はありませんか。

（以上いずれも「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑は終わりました。

執行部入替えのため、暫時、休憩いたします。

午後2時23分休憩

午後2時26分再開

○分科会委員長（畑尻宣長） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、第45号議案「令和5年度岡崎市一般会計補正予算（第1号）」のうち、本分科会所管分についてを議題とします。

歳出から順次、款を追って質疑を行います。

3款民生費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは13ページをお開きください。上から3段目のところの、3款3項5目の放課後対策業務ですけれども、まず、なぜ当初

予算に計上せず、この補正となったのか教えてください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） まず今回、矢作北学区では児童数が増え、児童育成センターの待機児童数も増加しており、2年生から入所できない児童が生じております。矢作北学区の待機児童解消には、放課後児童クラブによる供給量の拡充が必要と考えていますが、実現には至っていないこと、また国が待機児童解消までの緊急的措置として推進しております放課後居場所緊急対策事業は、現在、小学4年生以上を対象としていたため、今現在、矢作北学区の実情と合わず、補助金の活用ができませんでした。

昨年12月に、こども家庭庁設立準備室より対象児童を全学年に拡充予定とすると情報が入りまして、令和6年度からの制度活用に向けた他市事例や、活用できる社会資源等について調査を進めていたところ、矢作北学区総代会が中心となりまして、市民ホームの一部を子供の居場所として確保し、安全安心な見守りスペースとして活用する提言がございました。利用団体等の調整等に時間を要しまして、運営者側の事業内容や事業の募集等の決定が2月に入ってしまったしまして、当初予算の計上には間に合いませんでした。

しかしながら、当該事業としまして実施しますみんなののうち矢作北でございますが、本市が調査、研究を進めております放課後居場所緊急対策事業との類似性が高く、令和5年度当初から運営者と協働して事業を実施することで、今後の待機児童対策に対する有効性等を早期に検証できると判断し、当初予算を補正しての対応をお願いするものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） では、事業の内容について伺います。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 事業の内容でございます。矢作北学区市民ホームの1階和室全部

と図書室の一部を利用し、放課後の子供の居場所として安全安心な見守りを行う事業でございます。定員は25名、開所時間は、平日は下校後から19時まで、学校代休日及び夏休み等の長期休業期間は午前8時から19時まで、利用料は月額7,000円で、おやつ代、保険料等は別になっております。

運営は、認可外保育事業やアフタースクール、子育てネットワーク活動を主要事業としてみえます。一般社団法人こどもと暮らすiねっとが行います。本法人は、令和2年度より株式会社アイシンと連携しまして、仕事と子育て、学びが一体となったつながりステーションを提供しておりまして、小学校の放課後の居場所の提供、安全安心な見守りなど、放課後サポート活動の実績を有する法人でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 磯部委員。

○委員（磯部亮次） それでは、矢作北学区の待機児童は現在何名か。また、本事業で全ての待機児童を解消することができるのでしょうか、お伺いします。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 現在、令和5年度の矢作北児童育成センターの申込み状況から、42名の待機児童が生じる見込みとなっております。本事業は、さきに申し上げましたとおり、定員が25名となっております。全ての待機児童を受け入れることはできませんが、隣接する学区から送迎事業を実施しております民間放課後児童クラブの利用や、学区こどもの家のかばん下校の利用など、複数の手法により、今現在、混雑しております学区こどもの家の混雑緩和を含めまして、放課後の居場所環境改善に努めたいと考えているものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） では、私から、13ページの一番上になりますが、3款3項2目の私立保育園運営支援業務の補助金について、質問させていただきます。

補正予算の概要についてお聞かせをください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 公立保育園、こども園の給食費につきましては、令和5年度から改定を行う予定でございますが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、今回の補正予算により令和5年度は保護者負担額を背負うこととなります。このことを受けまして、私立保育園に対しまして、給食費の保護者負担額を値上げせず、これまでどおり市と同じ献立の給食が提供できるよう、私立保育園が負担する食材料費の物価高騰分について1食当たり40円を上限に補助するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 中根委員。

○委員（中根武彦） 40円を上限とする根拠をお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） 保育課長。

○保育課長（大須賀秀樹） 国が示す保育所等での給食費の目安は、1日当たり300円となっております。令和4年度には、愛知県が物価高騰の影響を受ける私立保育所等を支援するために、保育所等給食費軽減対策支援金制度を創設し、本市もこの制度を活用して、物価高騰の影響分として1食当たり40円を給付させていただきました。

令和5年度のこの補助金では、令和3年度と令和4年度の給食材料費の総額と、その発注総数から簡易的な給食材料費の単価を算出した実績を基に、40円を上限として補助するものとなります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 井町委員。

○委員（井町圭孝） それでは、私は13ページの3款3項5目、放課後対策業務から、お伺いします。

市民ホームを利用するということですので、学区民が市民ホームを利用するに当たり留意することはあるのかということと、第2矢作北児童育成センター設置はどのようにお考えか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） まず御質問いただきました学区民の皆様への影響でございますが、今回ルール変更を伴うものではございませんが、さきに申しあげました児童の居場所として使用する和室等のスペースにつきましては、学区市民ホーム運営委員会の御尽力によりまして、現在、和室を活動してみえる学区利用団体の各位と御調整いただきまして、他の部屋で活動いただくことに御理解、御協力をいただいております。

そして、第2矢作北児童育成センターの建設計画でございます。これは、令和2年度から5年間で計画期間としております「第2期おかざき子育てプラン」の中で、矢作北学区における放課後児童健全育成事業の供給量は拡充していくことを定めておるところでございますが、公設の児童育成センターの整備につきましては、代表質問の中で教育委員会と連携した学校施設の活用検討などの方向性を答弁させていただいておりますが、既存の公共施設を活用して、新規に整備を行う余地は非常に少ない、ほとんど残っていないという状況でございます。

これを加えまして、市が必要な支援を行うことを視野に入れました民間の放課後児童クラブの参入促進を含めまして、矢作北学区の待機児童解消に向けた受皿の確保に努めていきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。
○委員（近藤敏浩） それでは、同じ13ページですけれども、3項5目放課後児童健全育成費でございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは、同じ13ページですけれども、3項5目放課後児童健全育成費でございます。

これまでの御答弁で本事業の目的ですとか、矢作北学区の状況を理解しました。私からはちょっと2点伺います。

1点目なんですけれども、本事業は放課後児童健全育成事業と違って面積ですとか、支援員などの基準がない中で、どのように子供たちの健やかな環境を確保するのでしょうか、お聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 本事業は、先ほど申しあげましたように、国の放課後居場所緊急対策事業と類似性が高いというところで、今後の待機児童対策としての有効性等について検証するための実証事業として実施するものでございまして、職員体制や設備等は、現在、国のいわゆる厚生労働省が示す放課後居場所緊急対策事業実施要綱に準拠して実施されるものと考えております。子供たちが安全かつ安心して過ごすための活動スペースや、学校、保護者等との情報共有体制など、運営事業者と連絡を取りながら、安全性を確認してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 近藤委員。

○委員（近藤敏浩） それでは2問目です。井田学区や羽根学区など、ほかにもセンター利用待機児童が多くいる学区はあると思います。今後、どのような基準で放課後居場所緊急対策事業を導入していくのか、市のお考えをお聞かせください。

○分科会委員長（畑尻宣長） こども育成課長。

○こども育成課長（谷端健司） 委員御指摘のとおり、矢作北学区以外にも、特に井田学区をはじめとしまして、中心市街地におきましては放課後留守家庭児童の居場所について高いニーズがございます。児童育成センターの定員を上回った待機児童の多くが、かばん下校という形で学区こどもの家を利用しておりまして、こどもの家が混雑した状況にあるということは、私どもも認識しているところでございます。

今回の実証事業で有効性の確認を進めさせていただきまして、他学区において民間放課後児童クラブの誘致や、既存の公共施設の活用による児童育成センターの整備等により、待機児童が解消するまでの間、放課後の受皿になり得る施設や団体などとの地域資源を探りながら、放課後居場所緊急対策事業の導入を検討したいと考えておるところでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次、6款農林業費、

御質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○分科会委員長(畑尻宣長) 次、7款商工費、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員(磯部亮次) それでは、15ページになります。7款1項2目の地域経済再生・活性化支援業務についてですけども、この事業でどのような効果を見込んでいるのか、御説明ください。

○分科会委員長(畑尻宣長) 商工労政課長。

○商工労政課長(木和田佐奈枝) キャッシュレス決済ポイント還元事業でございます。中小飲食業、中小小売業などは、依然、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、さらに物価高騰など厳しい経営環境が続いております。それらの業種を対象とすることで、コロナのみならず、物価高騰の影響を受ける事業者を支援するとともに、市民及び観光客の消費喚起を促し、事業者の売上げ向上を支援してまいります。

以上でございます。

○分科会委員長(畑尻宣長) 磯部委員。

○委員(磯部亮次) 実施時期や還元率など、今年度実施した内容と異なる点があったら教えてください。

○分科会委員長(畑尻宣長) 商工労政課長。

○商工労政課長(木和田佐奈枝) 今年度と同様、実施時期は夏頃1か月程度の期間を予定しております。新型コロナウイルス感染症が5類に変更されることによる消費者の行動変容とキャッシュレス決済の普及により、使用が増えることが予測されておりますので、前回と比較し予算額を増額しております。

また、決済事業者ごとに固定の事務費が発生することなど費用対効果を鑑み、還元率を今までと変わらず20%を確保するため、令和5年度は決済事業者をペイペイ株式会社1者で実施していきたいと考えております。

以上でございます。

○分科会委員長(畑尻宣長) 磯部委員。

○委員(磯部亮次) 確認ですけども、今回補正

で上げられた理由をお聞かせください。

○分科会委員長(畑尻宣長) 商工労政課長。

○商工労政課長(木和田佐奈枝) このキャッシュレス決済ポイント還元事業の実施に当たっては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する予定であり、国から令和5年度に活用できる地方創生臨時交付金の交付限度額の見込額が2月15日付で示されたことにより、令和5年度3月補正予算での対応となったものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長(畑尻宣長) 次、10款教育費、御質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○分科会委員長(畑尻宣長) 次、歳入に入ります。

22款諸収入、御質疑はありませんか。

磯部委員。

○委員(磯部亮次) 9ページ、歳入、22款5項2目、学校給食費負担金収入でございますが、今回の補正予算の概要をお聞かせください。

○分科会委員長(畑尻宣長) 教育政策課長。

○教育委員会事務局教育政策課長(田中典子)

本市の学校給食費における保護者負担額は、現在、小学校240円、中学校275円となっております。この額は、平成21年から14年間据え置いています。このため、これまでの物価上昇及び消費税額の改定等に対応し、児童生徒に栄養価を充足した給食を提供するため、不足する費用を公費で負担してまいりました。

しかしながら、昨今の急激な物価高騰は令和5年度においても急速な改善は見込まれない状況であり、現状の給食費では給食の質や栄養価を充足した献立を維持することが困難な状況となっております。そのため、学校給食費の値上げを令和5年度から行うという予定で、値上げ額は物価高騰分のみ相当する額とし、小学校で7円値上げし、247円、中学校で11円値上げし、286円と設定をいたしました。

このため、値上げ後の保護者負担額を給食費負

担金収入に計上しておりましたが、令和5年度については新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、保護者負担額を令和4年度と同額に据え置くことから、給食費負担金収入を減額補正するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑は終わりました。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次に、第39号議案「令和5年度岡崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算」を議題とします。

本件について、歳入歳出を一括して御質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑はなしと認めます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次に、第24号議案「令和4年度岡崎市宮崎財産区特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本件について、歳入歳出を一括して御質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑はなしと認めます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次に、第40号議案「令和5年度岡崎市宮崎財産区特別会計予算」を議題とします。

本件について、歳入歳出を一括して御質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑はなしと認めます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次に、第25号議案「令和4年度岡崎市形埜財産区特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本件について、歳入歳出を一括して御質疑はあ

りませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑はなしと認めます。

○分科会委員長（畑尻宣長） 次に、第41号議案「令和5年度岡崎市形埜財産区特別会計予算」を議題とします。

本件について、歳入歳出を一括して御質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御質疑はなしと認めます。

お諮りします。

分科会報告書の作成は委員長に委任されたいと思います。

これに御異議はありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○分科会委員長（畑尻宣長） 御異議はなしと認めます。

よって、分科会報告書の作成は委員長に委任されました。

これにて予算決算委員会文教経済分科会を閉会します。

午後2時45分閉会